

建 物 概 要	構 造	●RC ○SRC ○S ○W
	階 地 上 2 階	
	延べ床面積	1,707.04 m ²
	建築物用途	建築基準法別表第一 (1) 集会所 消防法施行令別表第一 (1) 項 イ
施 工 項 目		
給 排 水 衛 生 工 事		空 気 調 節 工 事
●衛生器具工事	○消火工事	●空調図和工事
●給水工事	●ガス工事	●換気工事
●排水工事 (含通気)	●浄化槽工事	
●給湯工事	●厨房器具工事	

① 本工事は、本特許技術によるほか、国土交通大臣が所管する官庁指定の公共施設工事標準仕様書（機設設備工事編）（令和4年）並びに監修公設建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年）並びに国土交通省住宅建築部の公共住宅建築工事標準仕様書（令和4年）（以下標準仕様書という）、国土交通省国土政策研究所建築設計部監修建築設計・施工指針（2014年版）による。

② 本工事の使用資材の品質、規格、性能等は、本特許による。

③ 本工事には必要とする電力、水及び排熱処理等の費用はすべて該負業者の負担とする。

④ 施工計画表は、事前に作成し、監督員に提出する。

⑤ 本工事に下記の図表・規格・仕様書と適用する。(●印のみ)

○配管技術士：第2次技術士試験 ○設備施工技術士：○（●印のみ）
○空調設備施工技術士 ○配管施工技術士 ○空調設備施工技術士（編P-16.1.5.2）

本工事で、特許技術に従うもの「立床金等による施工工程」に達するときは、事前に監督員に連絡して立床金等には指針に従うこと。（編P-17.1.6.5）

⑦ 設計図面に明記なくとも関係法令上または機器の機能上当然必要となるものについては、原則として該負業者の範囲内で施工する。

- | | |
|---------------|---|
| 1. 特殊な材料と技法 | 標準仕様書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は監督職員の承認を得ること。なお、特殊な材料による施工は当該製品の指定方法による。 |
| 2. 建設工事との取合 | 壁面、天井等に取り付け取付に必要な開口部等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に明記のない場合は、監督職員の指示による。 |
| 3. 別契約との関係工事 | 別契約の関係工事については、当該工事関係者と協力し、工事の円滑進捗よくを図るとともに、疑問が生じたとき監督職員の指示による。 |
| 4. 施工過程における調整 | 工事現場進行の過程における調整については、建築担当職員と充分に打合せを行い、指導を受けること。 |
| 5. 完成図 | 設計図書に施工現場と一致するよう訂正をした後、下記製本よりCD-ROMを提出する。
訂正した原図は監督員に送納する。完成図の提出期限は工事契約の終了の日以内とする。
〔標準P18.1.7.2〕 ●(A-4 版 1 部) ●(A-3 版小 2 部) ●(A-1 寸書 2 部) |
| 6. 試験成績書 | 都市ガス設備、液状石油ガス設備は、ガス供給事業者の規定する気密試験成績書を 2 部提出する。異指定形式による。その他の試験成績書は監督職員の指示による。
〔標準P16.1.5.5〕 ●(標準P18.1.7.1) |
| 7. 申請書類 | 工事施工に必要な官公署への申請書類原本またはその写しを 2 部ずつ作成し、完成図と一緒に提出する。〔標準P15.1.1.3〕 ●(標準P18.1.7.1) |
| 8. 工事報告 | 工事報告は、別に定める工事出来高報告書により毎月月末見込みの出来高等を当月の 20 日までに監督員に提出する。 (A-4 版) |
| 9. 工事写真 | 工事写真は、工程写真と完成写真とする。工程写真は、工事工程に即して撮影し、工程順に整理したものを諸員官に保管する。
なお、工程写真の提出が監督員が指示した場合は、出来高報告書と共に提出し、確認を受けること。また、施工した設備の全部もしくは一部の故障もしくは損壊あるいはコンクリートに埋込まれた設備が写真で確認できる様子にすること。必要に応じてカメラ写し込みとすること。工事写真は次の条件を満たすものであること。
(1) 原則として、カラー媒体による写真を使用ものとし、デジタルカメラの有効画素数 100 万画素以上、ソフトウェアは、フルカラー 300dpi 以上の機能をもつ機種とし、インク・用紙等は通常の使用条件のもとで、3 年間程度に顯著な劣化が生じないものとする。
(2) 「現行のカラー写真」と電子媒体による写真の管理方法は原則として行わないこと。
(3) 現行のカラー写真も可とする。
(4) 諸員官は、完成検査若しくは工事的物引渡が完了するまで写真管理に利用した電子媒体を保管すること。(A-4 版) 〔標準P18.1.2.4〕 |
| 10. 工事打合済 | 工事打合済については、電子メールにて取り交わすことが出来る。 |

項 目	特 記 事 項																																
1. 共通事項																																	
環境への配慮	国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に定めるところにより、環境負荷低減できる機器及び材料を選定するようにする。（【標-B-11.1.4】）																																
2. 機材	使用資材は、原則として、「JIS・JWWA等標準仕様書」に定められた規格とする。 使用機械は、国土交通大臣官庁官庁官庁官庁部管轄「建築物・設備材料及性能評価事業設備材料及性能評価表」記載品、または同等品以上のものとする。（【標-B-11.1.4.2】）																																
化学物質を 放出する 建築材料等	塗料、接着剤、保護塗膜等の材料については、原則としてホルムアルデヒド等揮発性有機化合物の放数量が小さく建築基準法の規制対象外である「F☆☆☆☆」の材料を使用すること。（【監-P-65.1.4.1】）																																
3. 防火区画貫通部	区画貫通の管類は、建築基準法に従い施工する。なお、その際の充填材はモルタルまたはロックウールであり、保温材はロックウールとする。																																
4. 配管用のスリーブ	地区計画認定指定工事（防火パネル等）の使用も可。（【標-P-81.2.8.1】【監-P-287.2.8.1】） 上記以外は原則として重鉛板製とするが、柱及び梁以外の箇所では、開口補強が不要であり、かつスリーブ径が200mm以下の部分は、縦装板様式と良い。（【標-P-52.2.2.27】【標-P-81.2.8.1】【監-P-287～292】）																																
5. 専用工具の使用	塩化ビニル鋼管、ポリ粉体鋼管及び外面被覆鋼管は、帯の切れ又は丸のこなどで切断し、パイプカッターによる切断は禁ずる。わじり口には、自動切りばし装置付とする。 （わじり口に際しては、わじりゲージを使用して適正（JISねじ）に切られているか確認する。） 【施工手順を撮影の上、工程写真に表す。】（【標-P-64.2.1】）																																
7. 配管接合材	事業者からの指定がある場合を除き、原則としてラインング鋼管ヘルメシールⅧを用いること。（【監-P-53.2.2.28】）																																
8. 支持金物類	屋内、ビット内及び多道箇所の支持金物類はステンレス鋼製とする。																																
9. 外面被覆鋼管の傷部補修	埋設される外面被覆鋼管（管内面被覆鋼管）については、継手スリーブ端及びチャック・バイプレンの傷部分にプラスチックテープを巻くこと。（露出部分は原則不要）（【監-P-235.2.5.4】）																																
10. 鋼管の傷部の補修	鋼管（内面被覆鋼管のみ）については、ねじ込んだ後、残りのねじ部及びチャック・バイブレンの部分に、十分に養生テープ（ベントリクス）を張ること。（【監-P-220.2.5.2】）																																
11. 排水引き管への接続	原則としてY字接続とする。（Dレキ管を含む）																																
12. 衛生用配管への配管	管のためみせを利用した方法（ヌークツ管など）で施工する。エルボⅩ５ （【図-P-110】）																																
13. 標準埋設深さ	ビルン管（一般４５０Φ・車路６００Φ） 鋼管（一般３００Φ・車路６００Φ） （【標-P-80.2.7.2】【監-P-284.2.7.2】）																																
14. 土中埋設（電気線、ガス、コード紐手及び排水用管類その他に係じる）	外面を被覆している鋼管は、プライマーを塗布のうえ、防食テープ１２重なり１回巻きをさらにプラスチックテープ（JISZ 1901に準じたもの、厚さ0.4mm）で１２重なり１回巻きを行う。 また、継手の部分に、ペトロタム系の充填材を詰め、表面を平滑にするうえで防食シートで包みプラスチックテープ１２重なり１回巻きとする。 （施工手順を撮影の上、工程写真に表す。）（【監-P-80.2.7.3】）																																
15. コンクリート埋設給水管・銅管	プラスチックテープ（JISZ 1901に準じたもの、厚さ0.4mm）で１２重なり１回巻きを行う。（【監-P-80.2.7.3】）																																
16. 埋設管表示テープ	下記の施設管は、管頂部長さにあわせて、粘着材質表示テープを貼付する。 ○直結給水管（上水道本管接続部） <緑色> ○給水管（水栓以降） <空白> ○排水管（受水槽→高圧水間隔） <茶色> ○井水管 <白色> ○消防管 <黄色> ○ガス管 <青色>																																
17. 埋設管標準シート	各層管（地表面から150mm程度の深さ）にビニール製標準シート（巾150㍓）を埋設する。（排水管は除く）（【標-P-79.2.7.1】【監-P-282.2.7.1】）																																
18. 埋設槽	土中埋設のガス管、給水管及び雨水管が分岐する部位に設置する埋設槽は次のとおりとする。 （設置場所は図示による） ・未塗装部分は、アルミ製表示盤をコンクリート（200×φ300）で巻き込んだものを、ステンレス線で配管に緊結の上設置する。 ・塗装部分は、キャットアイを用いた専用工具を用いて設置する。																																
19. 弁類	水栓引込口の配管には球型、その他は10K型。（JIS規格） ○水道事業者指定（ ） 室内をライニングした管に使用するねじ込み用の弁等は警備防護兼手錠の規定に準じた管端コアを備えたものとする。 呼び径６５以上の弁は外ネジ式とする。（水道用バフ付き弁は除く）（【標-P-42.2.2.9】） 呼び径５０以下の換水ポンプ付属止弁はバフストッキでもよい。 呼び径６５以上の仕切弁、逆止弁はライニング弁とする。 屋内外イタックス及びオイルサービススタックの最高液面に設ける元バルブ及びドンデンバルブは JIS B 207.1（鍍銀10K外ねじ仕切弁）または同等以上によるものとする。 （所轄消防署の承認するもの）（【標-P-42.2.2.1】）																																
20. 屋外露出したの弁類	防寒・保温のステンレス系鋼板による外装を施し、弁種はグリスアップする。																																
21. 埋設弁類の防護措置	井戸内の直接土中に接触しない箇所に弁類を設置する場合に、防護措置は原則不要とする。ただし、水道事業者の指定方法がある場合は例外とし、該管けら部分については防水を行ふこと。																																
22. 機器等の防護措置	振動が発生する機器については、ダンプパッドに固定し、かつ防護措置を施すること。 （特記無き場合は防護吊り具員、ダブルハットとする。）																																
23. 可操線手	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>水用</th><th>油用</th><th>合成ゴム製（水用）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管径</td><td>25以下</td><td>20以下</td><td>40以下</td></tr> <tr> <td>全長 mm</td><td>300以上</td><td>300以上</td><td>300以上</td></tr> <tr> <td>曲率半径 mm</td><td>32〜60</td><td>25〜40</td><td>60〜80</td></tr> <tr> <td>寸法</td><td>65〜150</td><td>75以上</td><td>100以上</td></tr> <tr> <td>全長 mm</td><td>300以上</td><td>300以上</td><td>300以上</td></tr> <tr> <td>曲率半径 mm</td><td>50以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td></tr> <tr> <td>寸法</td><td>75以上</td><td>75以上</td><td>75以上</td></tr> </tbody> </table>		水用	油用	合成ゴム製（水用）	管径	25以下	20以下	40以下	全長 mm	300以上	300以上	300以上	曲率半径 mm	32〜60	25〜40	60〜80	寸法	65〜150	75以上	100以上	全長 mm	300以上	300以上	300以上	曲率半径 mm	50以上	50以上	50以上	寸法	75以上	75以上	75以上
	水用	油用	合成ゴム製（水用）																														
管径	25以下	20以下	40以下																														
全長 mm	300以上	300以上	300以上																														
曲率半径 mm	32〜60	25〜40	60〜80																														
寸法	65〜150	75以上	100以上																														
全長 mm	300以上	300以上	300以上																														
曲率半径 mm	50以上	50以上	50以上																														
寸法	75以上	75以上	75以上																														
24. 防護兼手	鋼製ラランジ付（【標-P-42.2.8.1】）																																
25. ユニオンの使用	ユニオンは、呼び径６５以下の覚え掛り配管につきても、原則として使用しないこととする。 調理器具の接続等ユニオン使用の場合は必要が生じた場については、監督職員と協議すること。																																
26. サービススタックの上面計	Oゲージ式（簡式式） Oガラス管式（流注防止器） （【標-P-56.2.3.4】）																																
27. 防護罩その他	機器類、弁類、保守用具及び配管等に不適宜な名称、内容及び英印等を記入、もしくはプラスチック製に刻印したものを取り付けること。 （パイプジョイント・ビット内側と正確に対応可能な配管部品は、文字印刷・起り付けでもよい） 必要に応じ消火筒、ガス事故法、溶石法等による燃焼（危険物・気炎発生等）を設置する。（【標-P-19.1.7.4】）																																

- | | |
|----------------------------|---|
| 11. 保守指導
内容 | 本工事の機械設備について保守管理上必要な書類をワークシートにて2部作成し、完成図と一緒に提出する。(A-4 様例 (機 理P19.1.7.3)) |
| 12. 産業廃棄物 | 本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物は、産業廃棄物管理が認めれるものに適合し処理すること。 |
| 13. 施工中の環境
確保及び安全
確保 | <p>(1) 台風等と風害による現場被害が予想される場合は、事前の現場養生を施行し突如たる災害の予防に努めること。</p> <p>(2) 事故の防止完了報告および事後の現場状況報告を、書面にて監督監理官に提出すること。</p> <p>(3) 故、正月等長期間現場運営を休止する場合も同様とする。</p> <p>(4) 塗装、シール剤、接着剤その他の化学製品の取扱いに当たっては、当該製品の製造者が作成したJIS T 7253による安全データシート (SDS) を常備し、記載内容の理解徹底を図り、作業者の健康、安全の確保及び環境保全に努める。</p> <p>(機理P-9.1.3.5、P.10.1.3.8)</p> |
| 14. 解体等作業
時の石綿対策 | 解体及び修繕作業において、石綿含有建材材料を除去する必要がある場合には、事前に監督監理官に報告することと共に、作業においては「石綿管理予防規則」を遵守すること。 |
- ※：○の特記仕様欄における参考ページは略号は以下のとおりとする。
- 機＝標準仕様書、監＝監理指針、図＝標準図
- 修正履歴：H290517

- | | | |
|-----|---------------|---|
| (2) | 衛生器具工事 | (横P-245 1.1.1~P-251 1.1.13) |
| 1. | 和風大便器 | <p>躯体とP接続管、給水管接続の場合は吊り金具を使用する。便器和前壁との間隔は、250mm程度を確保する。和風大便器用フラッシュバルブ壁面取り付けの場合はF.L.+800mm程度とする。</p> <p>(横P-293 2.1.2、図P-169、170)</p> |
| 2. | 大便器用洗浄弁 | <p>○バキュームブレーカー付フラッシュバルブ(ノルホンディング機積付) (横P-250 1.1.1)</p> <p>○ロッキング(防露型)洗浄管固定。 ○自洗浄洗 (横P-293 2.1.2、監P-669 1.1.12)</p> |
| 3. | 小便器洗浄方式 | <p>○フラッシュバルブ ○ハイタンク ○水栓 ○自動洗浄</p> <p>(横P-245 1.1.1、監P-293 2.1.2、監P-669 1.1.11~1.1.12)</p> |
| 4. | 指示板 | <p>○陶器製 ●必要 (器具類の説明書に指示板等は最も取り貼りに付けること。)</p> |
| 5. | 蛇皮管 | ステンレス鋼製ワンタッチ形式とする。 ●シングル ●肘付二連 (横P-246) |
| 6. | 水栓径 | 原則としてJIS規格、JWWA規格(日本工業規格)適合品とし水栓こずとする。 シングルバーは上仕水方式。(横P-249 1.1.6、監P-671 1.1.10、図P-68) |
| 7. | シールテープの除去 | 水栓下配管を接合した後の、見えがけ部分の余分なシールテープ等も、カッター等を使用し丁寧に除去すること。 |
| 8. | 化粧製の裏板補強 | 化粧板を壁に取り付けた際の隙間は、鏡の材料を防止するため補強材を設けること。
(厚さ4mm程度、樹脂シート等) ○一般型 ○逆折防止型 |
| 9. | 水栓柱 | VB仕様φ900H O.T. 200H
必要に応じコンクリート埋め巻、または壁にバンドにて固定する。 |
| 10. | 器具廻りのコーキング | 陶器類、洗濯槽パン等については、原則として器具廻りをコーキング処理すること。 |
| 11. | 洗面化粧台に付属の照明器具 | 洗面化粧台に付属の照明器具については、周波数切り替えスイッチを60Hzにあわせること。 |

- | | | | | |
|-------------|--|---------|------------|---------|
| ⑤ 屋内給水工事 | | | | |
| 1. 給水方式 | 引込引付近水圧 (0.4 MPa) | ○水道直結方式 | ○重力 (高置水槽) | ○加圧送水方式 |
| | ○直結増圧方式 | | | |
| 2. 水栓類 | ○FRP製 ○ステンレス製 (〇一体型 ○組立型 ○単板構造 ○保温構造)
タクセル本体、地面及び配管より発生する漏水ロッシングによって損傷を起こさないような強度を有するものとする。 2 m以上は屋内に設置し、マンホールは内置及び引き継ぎを行う。
(標P-263 1.4.1. 標P-289 2.2.4. 標P-707-3) | | | |
| 3. ポンプ及び動力機 | フード本体は、ステンレス製・樹脂製又は青銅製とする。 (標P-254 P.258)
駆動、全閉防まつ装置、屋外 (多湿箇所) 全閉防まつ装置 (その他の) 防滴保護形 (標P-241 1.1) | | | |
| 4. ポンプ受動機 | ○鋼板製 ○耐食性のある樹脂系 ○ステンレス製
(標P-51 2.2.20) | | | |

- | | |
|-------------------|--|
| ① 屋外給水工事 | |
| 1. 継手材 | 管端防食継手としネジ部にコンパウンド、継手受口の隙間に専用テープを使用すること。
〔ゴムリング方式は不可〕〔標P-37.2.1.2.5〕 |
| 2. 量水器 | 継手メーカー（●買付）○買取り）子メーカー（○買付 ○買取り）○集中検針装置
水通事業者の指定が任意。乾式直読型とする。〔標P-50.2.2.1.6〕 |
| 3. 量水器器 | 呼び径 32 まで MC-1（430×310×550H 付 TAMB-1）、呼び径 40～65 まで MC-2（710×510×705H 付 TAMB-2 小窓付）とする。呼び径 80 からは MC-3（1100×710×750H 付 TAMB-3 小窓付）とする。〔標P-289.1.8.2.図P-92〕 |
| 4. 仕切弁 | 呼び径 25 まで VC-P、呼び径 40 まで VC-1（180×180 付 T-1）、呼び径 50～80 まで VC-3（300×300 付 TMAH-A-P300）とする。
呼び径 100 からは VC-6（450×450 付 TMAH-A-P450）とする。
〔標P-291.1.8.2.図P-91〕 |
| 5. 弁類、量水器の
の固定 | 傾斜部分に設置する弁類、量水器類については、コンクリート巻きににて固定のこと。
鋼と蓋とは鋼でつなぐこと（鋼は溶融亜鉛めっき仕上げまたはステンレス製） |
| 6. 伸縮ジョイント | 鋼管とビニル管の接続箇所には、エラス（又はフリー）ジョイントを使用する。 |

- | | | |
|------------------|--|----------------------------|
| ⑤ 屋内排水工事 | | (標高P40~P42・標高P.63 2.4.8) |
| 1. 洗面器等
の排水管 | 洗面器および手洗器に直接取り付ける排水立管・法は器具トラップよりワンサイズアップとする。 | |
| 2. 床下掃除口
下の曲管 | 汚水系統に取り付ける床下掃除口の排水下の曲管は 90° 長曲管とする。 | |
| 3. 器具との接続 | 原則として配管接続とする。(ジャバラ・簡易ゴム接続は不可、専用アダプター使用のこと) | |
| 4. 排水金具 | 通気金具 ● 排水口 (耐酸性) ○ ビニル製 | |
| 5. 排水金具 | 排水通気弁 | |
| 6. 排水金具 | ナキ型型 ● 排水口 (耐酸性) とす。) 原則として 排水は、樹脂製とし。 (標高 P.289 1.7.1) | |

- | | |
|--|--|
| 屋外排水工事
<small>（図P-289～P-291） （横42.1.2.6）</small> | |
| 1. マンホールふた | ○鉄製（OMHA形 OMHB形 OMHD形）名称入り蓋、鎮付とする。
<small>（銅は溶融亜鉛めっき仕上げまたはステンレス製） （図P-36）</small> |
| 2. 汚水・雑排水 | 既設コンクリート管使用可。深さ1.2mを超える管は足場金（巾715以上 防錆処理）を取り付けること。 |
| 3. 小口径管 | 塩ビ製 ●防護蓋T-8（内蓋付き） ○塩ビ蓋ミグ（SUS鋼鉄）
●コンクリート巻（蓋呼び径×200）角×150h |
| 4. 掃除口コンコト | 300×300×150hで掃除口（CO）コンクリート巻込みとする。 |

- | | | | |
|-----------|--|-----------------------|--|
| 7. 給湯工事 | | 〔 標P-37～P-40、 標P-257〕 | |
| 1. 貯湯槽の材質 | ○ SUS444 製 ○ ステンレス鋼板製（電気防食装置付）
○ ステンレスクラッド鋼板製（電気防食装置付） ○ 鋼板製 〔 標P-269 1.4.3. 図P-78.79〕 | | |
| 2. 膨張水槽の | ロックウール2号 50t、外装はステンレス鋼板（0.3t） | | |

- | | |
|----------|---|
| 保温 | |
| 3. 瞬間湯沸器 | 耐塩処理 (○要 ○不要) 配管カバー (○450h ○) 吹出口は歩行面+2,000以上
○設定温度50℃以下 (ガス瞬間湯沸器のダイレクト着火方式で離島の場合) |

- | | | |
|-----------|--|-----------------------|
| 8. 消火工事 | | [標P-37~P-40、 標P-257] |
| 1. 屋内消火栓箱 | ○1号 ホース掛型とする。 銅製 $t=1.6\text{mm}$ 操作方法表示付き
○易操作性1号 日本消防検定協会の鑑定証票が貼付されたもの
○2号 [標P-271 1.5.2、図P-80~89] | |

- | | | |
|-----------|---|-----------------|
| 2. 消火栓開閉弁 | 4 5° 回転型で 1.0 MPa 型とする (JIS 規格)。 | ○一般型 ○定圧定流量型 |
| 3. ポンプ付属品 | フート弁本体は、ステンレス製・樹脂製又は青銅製とする。 [構P-257 1.2.8, 図P-176] | |
| 4. 消火管の保温 | 屋内は原則保温不要。屋外は図示による。 | |
| 9. ガス工事 | [構P-303~315, 図P-177, 178] | |

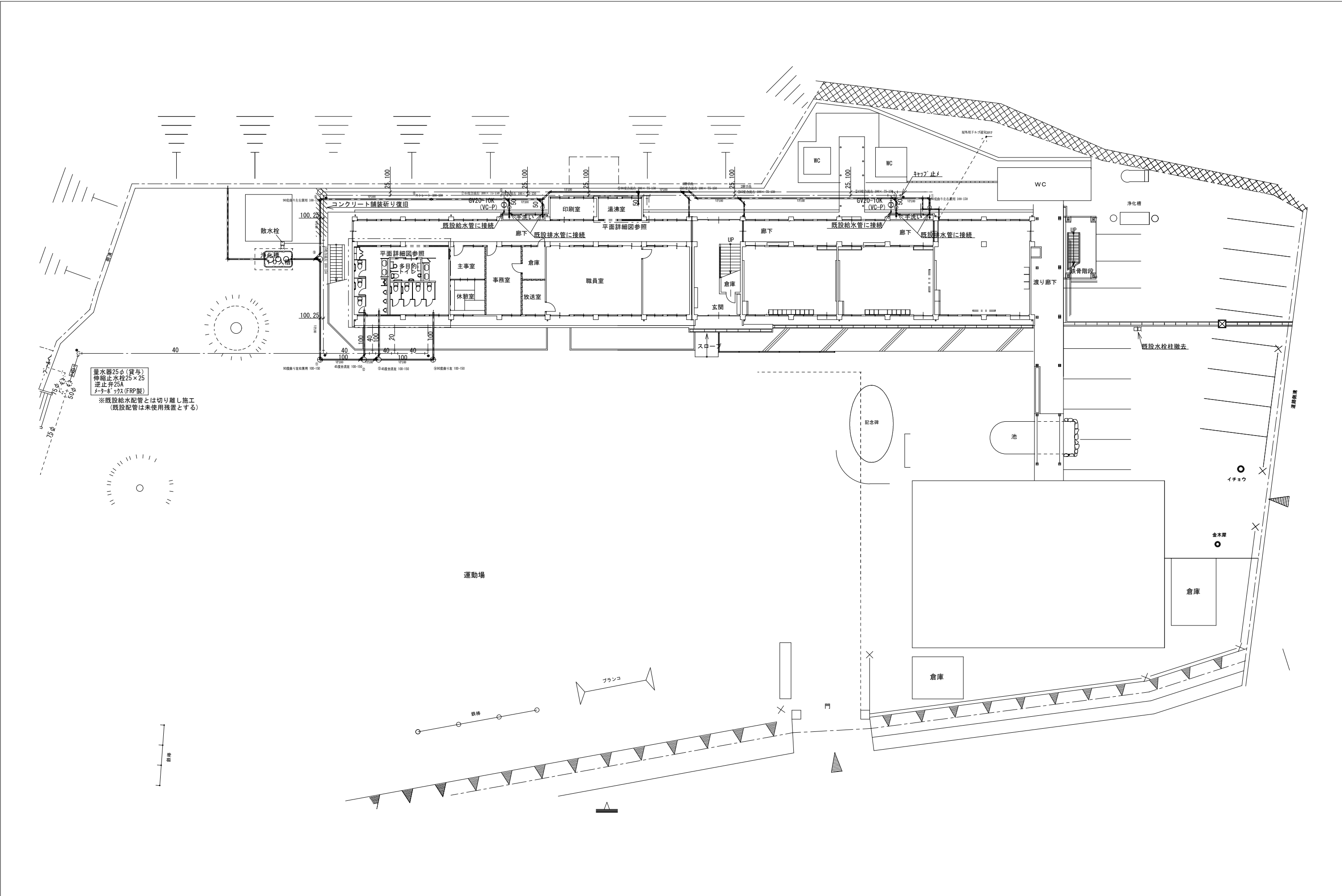
- | | |
|----------|--|
| 1. 種類 | ○都市ガス 熱容量 MJ/m^3 () ○液化石油ガス (プロパンガス) 熱容量 $50.2MJ/kg$ |
| 2. ガスメータ | ○メタリコ型 ○貸品品 (標準P-307 1.3.4、P-313 3.1.3.4) |
| 3. プロパン庫 | ○有 ○特定取扱設備 ○無 ○集合装置+転倒防止壁 (鋼はステンレス製) |
| 4. 接合材 | ガス専用接合材を使用すること。 |
| 5. 継手材 | 専用継手とネジ部にはシムドンド、継手受口箇所に転倒用テーパーを使用すること。器具接続以外のユニオン接続は使用しないこと。 |
| 6. 絶縁継手 | 外資から建築物内へ引き込まれる箇所の付近は露出の配管部に絶縁継手をつける。 (標準P-309 2.2.5) |
| 7. 施工 | 有資格者の技術施工とする。使用材料についてはガス事業者の規定に準ずる。 |

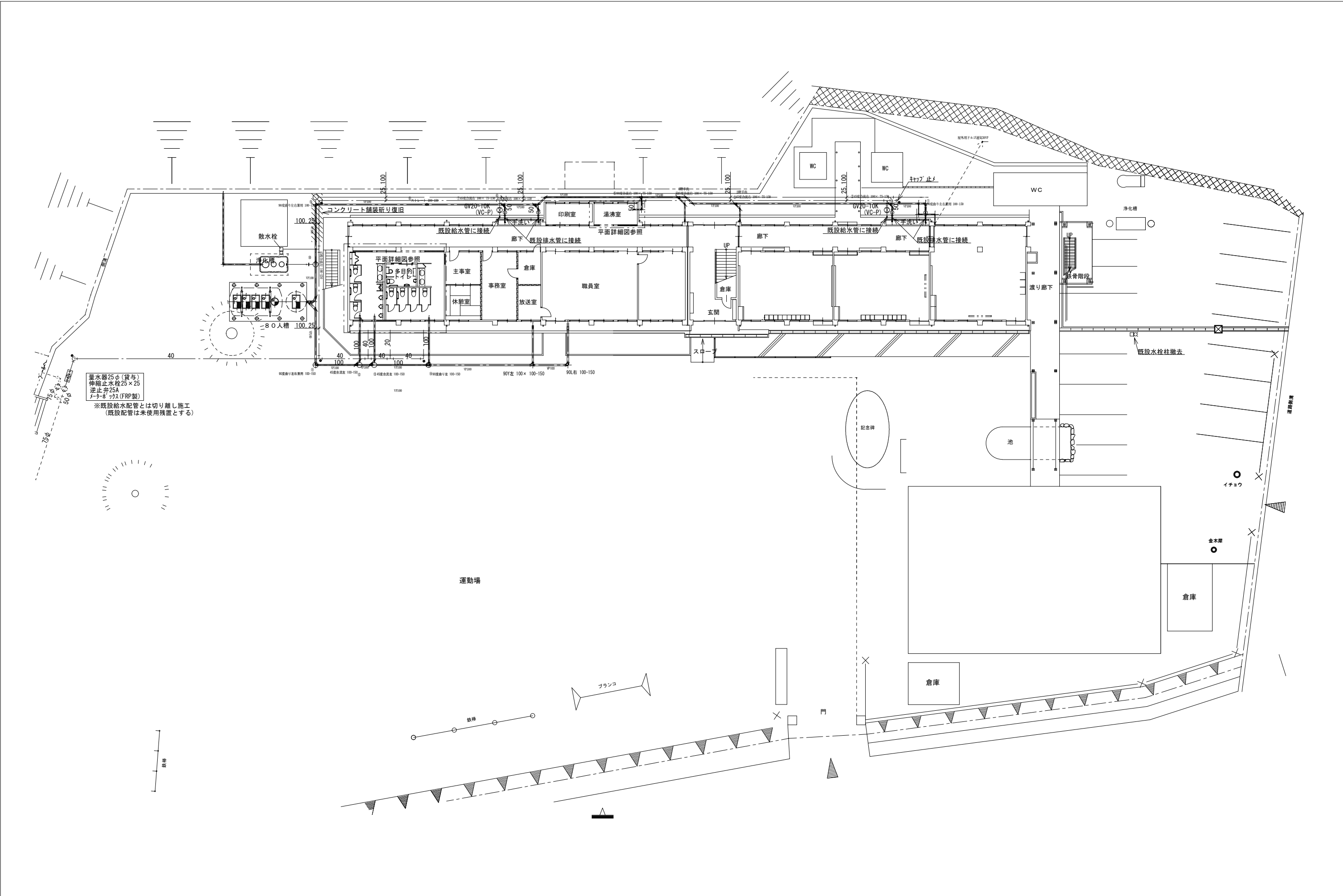
- | 浄化槽工事
(標F-329～346) | |
|-------------------------|--|
| 1. 型 式 | 建設省告示1292号（最終改正第154号）に指定する構造とする。
処理対象人数・処理水量・処理方式については、図示による。 |
| 2. マンホール
ふた | OMHA型 OMHB型 ○鋼網板（4.5t） ○標準FRP ○耐荷重FRP
※メーカ標準を除き全てボルトロックとする。
鋼板製のふたについてはメテンナスを考慮し、分割を検討する。取手付（ 標F-341 2.1.27） |
| 3. 金物類 | 支持金物、ボルトナット、その他すべてステンレス鋼製（ SUS304 ）品とし、溶融亜めっき仕上げ品とする。 |
| 4. ユニット型
浄化槽の埋
戻し | 槽内に半分程度注水後、良質土にて深さ1／3程度ずつ周囲を均等に突固め水締めを行う。
（ 標F-345 3.2.1 ） |
| 5. 構図の掲示 | 浄化槽工事現場に国土交通省令で定める事項を記載した構図を掲げること。（浄化槽法第30条） |
| 6. 浄化槽設備士
の立会い | 浄化槽設置に係る各工程に、浄化槽設備士が立会い確認している状況を、写真に基ずくこと。 |
| 7. 水質検査 | 浄化槽使用開始後4～8ヶ月以内に施設長が水質検査を行った報告書確認の上、その写を監督官に提出する。（浄化槽法第7条に基づく検査） |

- | 空調工事・換気工事・排湿工事 | | 室内 | | | | | | |
|------------------|---|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 1. 設計条件 | 外 | | 気 | | 一般系統 | | （ ）系統 | |
| | 温度 (DB) | 湿度 (RH) | 温度 (DB) | 湿度 (RH) | 温度 (DB) | 湿度 (RH) | 温度 (DB) | 湿度 (RH) |
| | 夏季
冬季 | ℃
% | ℃
% | ℃
% | ℃
% | ℃
% | ℃
% | ℃
% |
| 2. 保温度度計 | 電源はバッテリー電源 (2 次) 側より取出すものとして配管配線を含む。 (標 P-117 1.1.10) | | | | | | | |
| 3. ばいじん塵測定口 | ○機罩の直轄線に径 8 φ の孔 (標 P-117 1.1.9) | | | | | | | |
| 4. 煙道 | 鋼板厚さ 3.2mm 以上 (標 P-117 1.1.9) | | | | | | | |
| 5. ダクト | 風速 (○低圧 ○高圧 1 ○高圧 2)
○アール工法 ○コンクリート工法 (共振・スライド) (標 P-188 ~ 197)
フランジ部のダクト端折り返しは 5mm 以上とし、ダクト折り返し部の四隅にはシールを施す。
(標 P-206 2.2.2.3)
厨房、浴室などの多湿箇所の排気風道は、その継目及び継手を外面よりシール材でシールを施し、必要により水枝管を取付ける。
(標 P-204 2.2.1 図 P-146~151)
※シール材：シリコンゴム系又はエポキシ樹脂系を基本としたもので、ダクト材質に悪影響を与えないものとする。
(標 P-189 1.14.2.6) | | | | | | | |
| 6. フレキシブルダクト | 建築基準法施行令第 108 条の 2 の規定により、不燃材料の規定を受けたものと、十分な可撓性と耐圧強度及び耐食性を有するものとし、空調用の場合、断熱材料を含むものとする。
(標 P-191 1.14.4. P-211 2.12) | | | | | | | |
| 7. ダクトテープ | JIS H 4160 に準ずるアルミニウム箔 (厚さ 0.05mm 以上) の片面に樹脂系接着剤を塗布したテープ状のものとする。
布製テープは不可とする。
(標 P-189 1.14.2.5) | | | | | | | |
| 8. 風量測定口 | 取付箇所 (○送風機に近接した部分 ○外気取付付近 ○取付を図示されたダンパ (近接部分)
※取付 300 以下は 1 個、300 を超え 700 以下は 2 個、700 を超えるものは 3 個とする。
(標 P-213 2.2.7.3) | | | | | | | |
| 9. チャンバー | 消音内貼を施す。
(標 P-213 2.2.7.1)
○SA・R ○OA・EA
(標 P-191 1.14.5) | | | | | | | |
| 10. 配管材料 | 膨張管、空気配管及び影響タンクよりボイラへの給水管は、配管用炭素鋼管 (白管) とする。 | | | | | | | |
| 11. 換気器の基礎 | パッケージ型空調機用換気機 ○防振バット ○防振ゴム (防震ばね) ○専用防振架台 (ばね)
防振バットの厚さ 15mm とする。
(標 P-188 2.1 図 P-132) | | | | | | | |
| 12. 吐出及び吸込口 | 原則としてアルミニウム製とする。
(標 P-193 1.15.1~1.15.4) | | | | | | | |
| 13. 温度計 | 標準仕様書によるほか、下記の箇所に取付ける。
○温水ボイラの温水入口
○空気調和機廻りの給気風道、運気風道及び外気風道
○冷水水管等 (注) 及び冷水水管等 (通) の各通り管 (標 P-193 1.14.11) | | | | | | | |
| 14. 瞬間流量計及び流量測定口 | 標準仕様書によるほか、下記の箇所に取付ける。 ○瞬間流量計 ○流量測定口
・冷凍機の水出入口 ・ボイラ又は熱交換器の温水出口 ・冷水水管等それぞれの各通り管
※測定用タッピングは 3.2 φ 以上を使用し、外装はステンレス鋼板 0.3 t とする。
(標 P-57 2.3.8) | | | | | | | |
| 15. 排水水槽の保温 | ロックウール保温 (2 号) 2 t を使用し、外装はステンレス鋼板 0.3 t とする。
(標 P-84) (標 P-88 3.1.4) | | | | | | | |
| 16. 風道フランジ部の保温 | フランジ部は保温材 2 枚重畳とする。または、フランジ高さ +10mm とする。
(標 P-91) | | | | | | | |
| 17. 換気方式 | ○第 1 種 ○第 2 種 ○第 3 種 | | | | | | | |
| 18. バイパスフード | ○深型 ○浅型 ○ステンレス
○着脱式防虫網付き ○ガラリ付き | | | | | | | |
| 19. パッケージ型空調機 | 材質はナイロン・ポリロン・3.4 t とする。
耐塩処理 (○要 ○不要) JRA 防錆塩化株
(日本冷凍空調工業会標準規格) (JRA 9002-1991) (空調機器の耐塩害試験基準) | | | | | | | |
| 20. 耐震支持 | 吊り長さ 600mm 以上の場合は耐震支持を要する。ただし、軽重量品を除く。
(標 P-84 表 P-296) | | | | | | | |
| ① 保温工事 | 保温材、外装材及び補助材の材料仕様は、標準仕様書による。 (標 P-84 表 2.3.1)
管及びダクト類の外装材は図示によるものとし、保温材は図示がない場合は下を標準とする。
給水管、排水管、消火管、冷水管、冷凍水管 : ポリスチレンフォーム保温材
給湯管、温水管、一般ダクト : グラスウール保温材
防火区画等貫通箇所、蒸気管、排湿ダクト、煙道 : ロックウール保温材 | | | | | | | |

- | 3 密着試験、調整 | |
|-----------------|--|
| 1. 給水設備
給湯設備 | <p>(1) 給水装置に該当する管は、水道事業者の規定圧力。ただし、最小【密着1. 75MPa（1. 75 kgf/cm²）、ビル管1. 0MPa（1. 0 kgf/cm²）】とする。</p> <p>(2) 換気管、圧送管など当該設備の全長程に相当する圧力の2倍の圧力。
【最小0. 75MPa（7. 5 kgf/cm²）】</p> <p>(3) 高圧水槽以下の配管は、静水頭に相当する圧力の2倍の圧力。
【最小0. 75MPa（7. 5 kgf/cm²）】（標-P82 2. 9. 3）</p> <p>(4) 器具取付後の水圧試験・住宅内給水管（但し、水道メーター以降とする。）
【0. 75MPa（7. 5 kgf/cm²）】</p> <p>(5) 飲料水用タンク設置の密着場所において避難階漏れ率は0. 2mg/L以上検出されるまで、（1）に準じて、（3）に準じて行う。（10%希釈率の場合）（標-P58 2. 4. 1）</p> <p>(6) 水圧試験の保持時間は最少6. 0分とする。</p> |
| 2. 消火設備 | <p>消防用設備等試験結果報告書の記入にあつて行う。消防用設備等の機能等についての試験基準に基づき予備試験及び本試験を行う。（標-P82 2. 9. 5）</p> |
| 3. ガス設備 | <p>(1) 気密試験及び点火気密試験を行う。（標-P315 3. 2. 6）</p> <p>（高圧側1. 5 MPa、低圧側8. 4 kPa以下1. 0. 0 kPa以下又は供給事業者の規定圧力）</p> <p>(2) 点火気密試験は、管内の空気を除去を行う。（標-P310 2. 2. 6）</p> <p>(3) 給湯器と接続したるガス管の気密試験については、給湯器直後のガス栓を閉めて上記(1)の気密試験を行った後、給湯器直後のガス栓を開いて5. 0 kPa以下の圧度で再度気密試験を行うこと。ただし、供給事業者の配管気密試験規定圧力が5. 0 kPa以下の場合は、2回にわたって気密試験を行う必要がある。</p> |
| 4. 浄化槽設備 | <p>槽の水張り、配管、各機器の操作試験を行う。
（満水試験）2～4時間間隔第三者の立会い写真を撮る（写真写真に表す。）（標-P344 2. 2. 2）</p> |
| 5. 空調設備 | <p>(1) 冷暖気配管に配管接続完了後、「高圧ガス保安法」等に基づいたメーカー指定の方法により気密試験を行う。（標-P81 2. 9. 2）</p> <p>(2) 各種機器調整及び風量、風速、騒音、温度、湿度の測定等。（標-P241 1. 2. 4）</p> <p>(3) 自動制御設備の総合調整を行う。（標-P241 2. 4. 2）</p> |

- 上記試験、調整状況の写真を撮影すること。
- 省エネ法・グリーン購入法対象機器について
※「トップランナー制度」の対象製品については、当該製品の現場搬入予定時において、その基準をクリアしたものを採用すること。
- ※「グリーン購入法」の対象製品で、下表に指定したものの（機器表に特記がある場合も含む）については、その基準をクリアしたものを採用すること。
- また、この表に記載のないものについては、Ⅲー1ー1のものとすること。
- | (表) | |
|--------|-------------------|
| 対象指定製品 | エアコン・温水器・給湯器・電気便座 |





The diagram illustrates the construction steps for a kitchen sink and its associated plumbing, showing the progression from the initial sink installation to the final connection of the hot water supply and the installation of the hot water tap.

Step 1: Sink Installation
 Components: シンク (Sink), 排水金具 (Drainage fitting), 厨房工事 (Kitchen work).
 Work: 厨房機器取付 厨房工事 (Kitchen appliance installation, Kitchen work), カラン及び接続まで設備工事 (Equipment work up to faucet and connection).

Step 2: Drainage and Water Supply Connections
 Components: 排水接続 (Drainage connection), 設備工事 (Equipment work), 給水配管・カラン接続 (Water supply piping and faucet connection), 設備工事 (Equipment work).
 Work: 排水接続 設備工事 (Drainage connection, Equipment work), 給水配管・カラン接続 設備工事 (Water supply piping and faucet connection, Equipment work).

Step 3: Hot Water Supply Installation
 Components: 恒温高温度、冷凍冷蔵庫 (Constant high temperature, Refrigerator/Freezer), 台下冷蔵庫、冷凍庫 (Under-table refrigerator, Freezer), 厨房機器取付 (Kitchen appliance installation), 厨房工事 (Kitchen work).
 Work: 厨房機器取付 厨房工事 (Kitchen appliance installation, Kitchen work), カラン及び接続まで設備工事 (Equipment work up to faucet and connection).

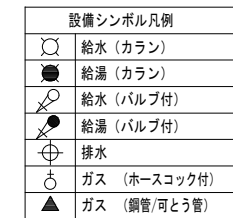
Step 4: Drainage and Water Supply Connections (Continued)
 Components: 排水接続 (Drainage connection), 設備工事 (Equipment work).
 Work: 排水接続 設備工事 (Drainage connection, Equipment work).

Step 5: Hot Water Tap Installation
 Components: 食器洗浄機 (食体) (Dishwasher (body)), 厨房機器取付 (Kitchen appliance installation), 厨房工事 (Kitchen work).
 Work: 厨房機器取付 厨房工事 (Kitchen appliance installation, Kitchen work), カラン及び接続まで設備工事 (Equipment work up to faucet and connection).

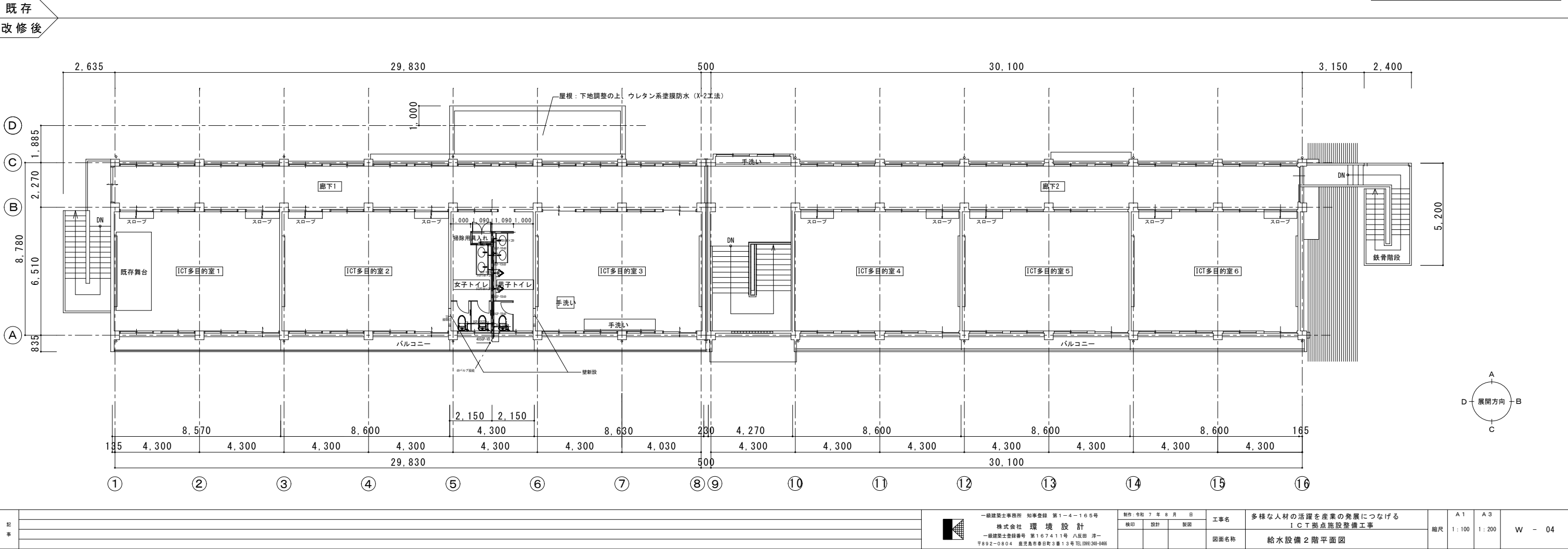
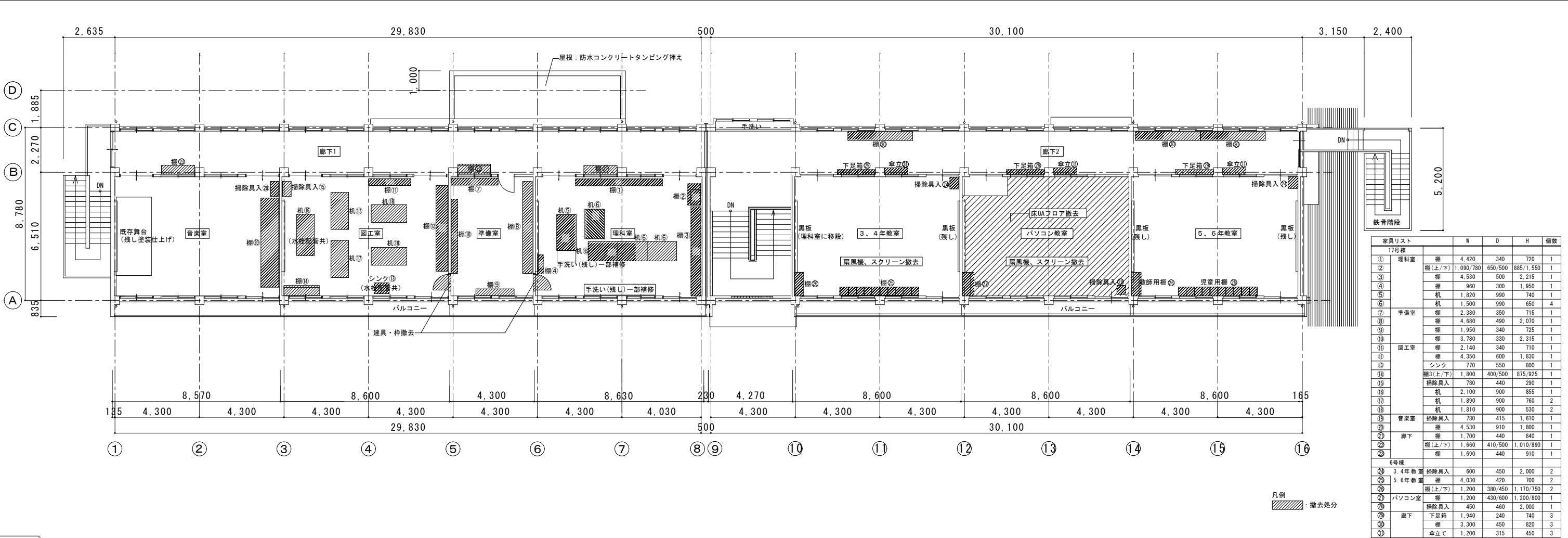
Step 6: Hot Water Tap Installation (Continued)
 Components: 排水配管 (耐熱用) 及び機器接続 (Drainage piping (heat resistant) and machine connection), 設備工事 (Equipment work).
 Work: 排水配管 (耐熱用) 及び機器接続 設備工事 (Drainage piping (heat resistant) and machine connection, Equipment work).

Step 7: Hot Water Tap Installation (Continued)
 Components: 給水配管・機器接続 (Water supply piping and machine connection), 設備工事 (Equipment work).
 Work: 給水配管・機器接続 設備工事 (Water supply piping and machine connection, Equipment work).

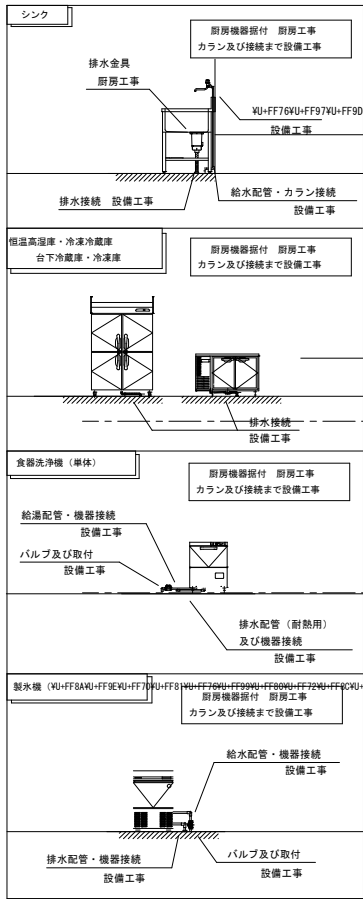
Step 8: Hot Water Tap Installation (Continued)
 Components: 排水配管・機器接続 (Drainage piping and machine connection), 設備工事 (Equipment work), バルブ及び取付 (Valve and installation), 設備工事 (Equipment work).
 Work: 排水配管・機器接続 設備工事 (Drainage piping and machine connection, Equipment work), バルブ及び取付 設備工事 (Valve and installation, Equipment work).



1. フード・ガス・電気・衛生・設備工事別途とします。
2. 給水・給湯・ガスはFL+50止メとし排水はFL+100
立ち上げ、厨房機器取り付け後、配管接続（設備工事）とします。
3. 立上位置は、配管接続を考慮して逃げ寸法にて記入しています。



～設備工事区分参考例～

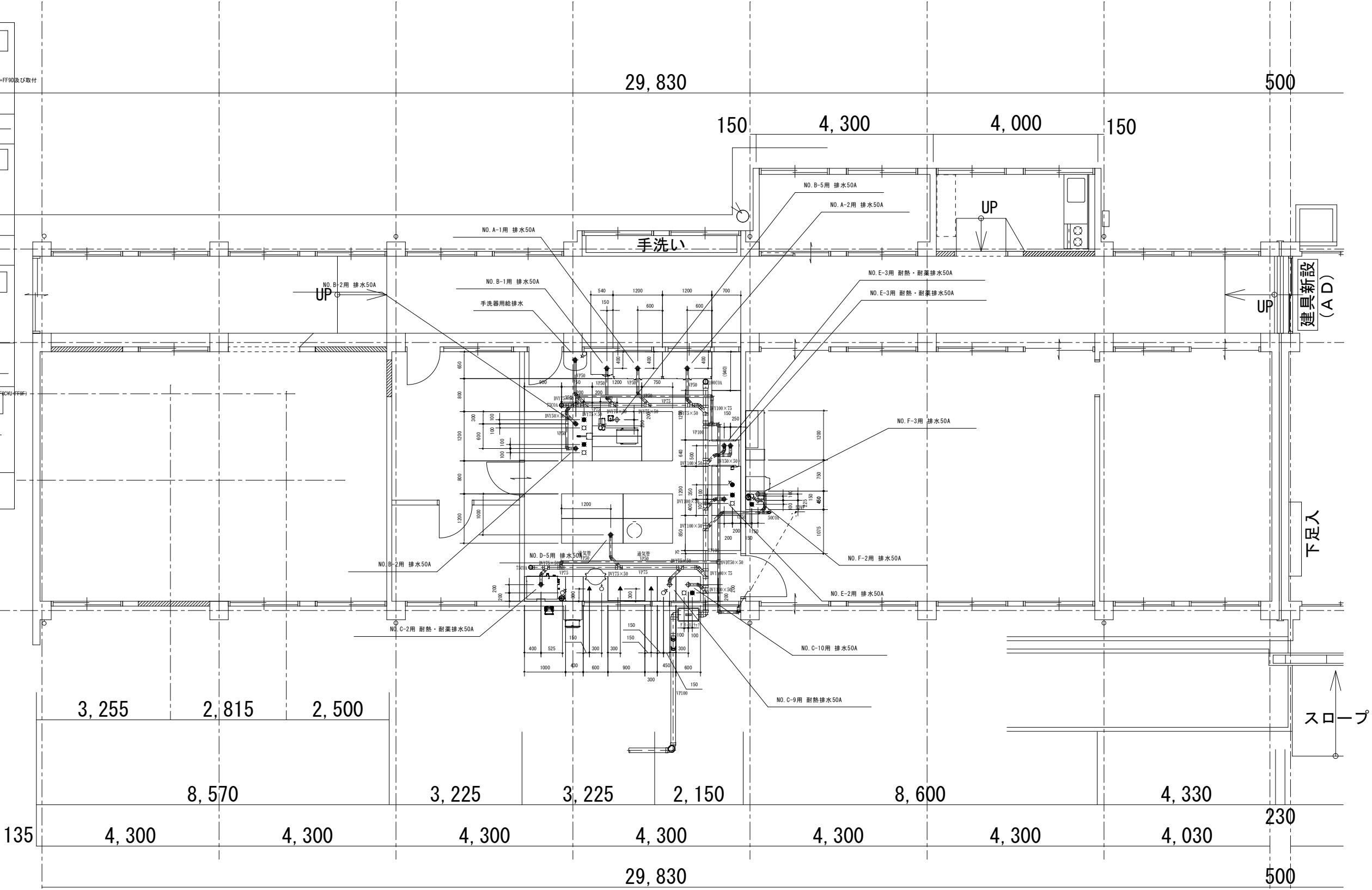


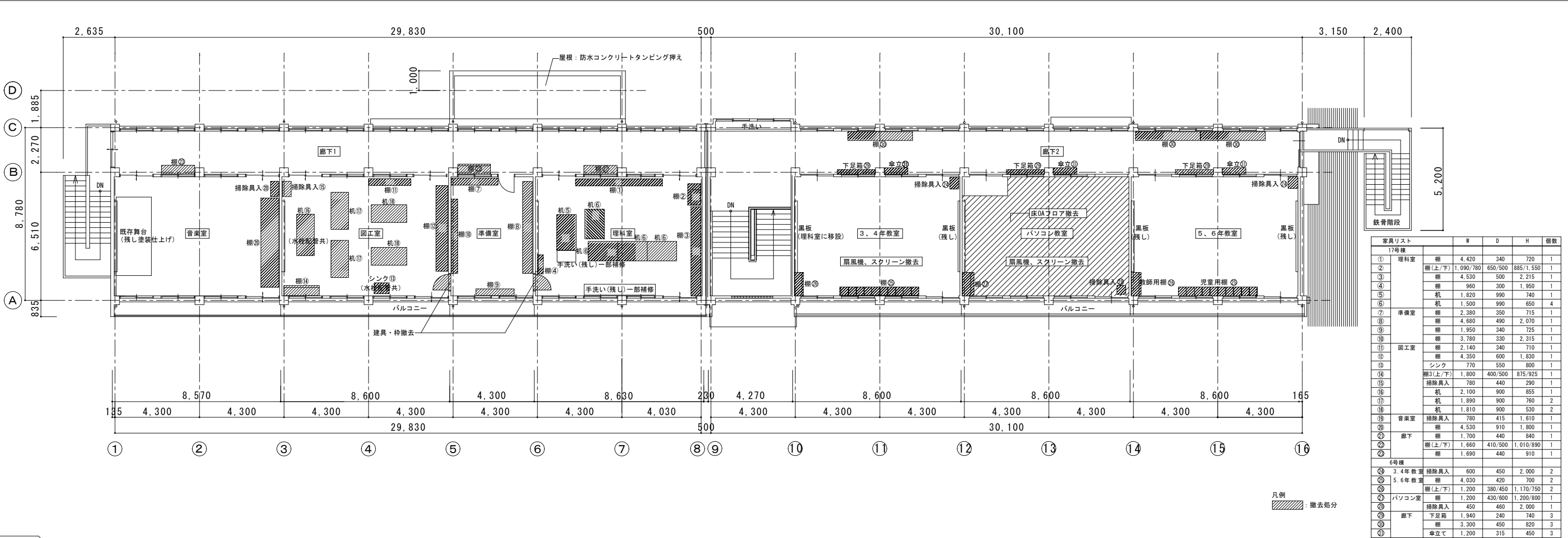
設備シンボル凡例	
	給水（カラン）
	給湯（カラン）
	給水（バルブ付）
	給湯（バルブ付）
	排水
	ガス（ホースコック付）
	ガス（鋼管/可とう管）

注 意 事 項

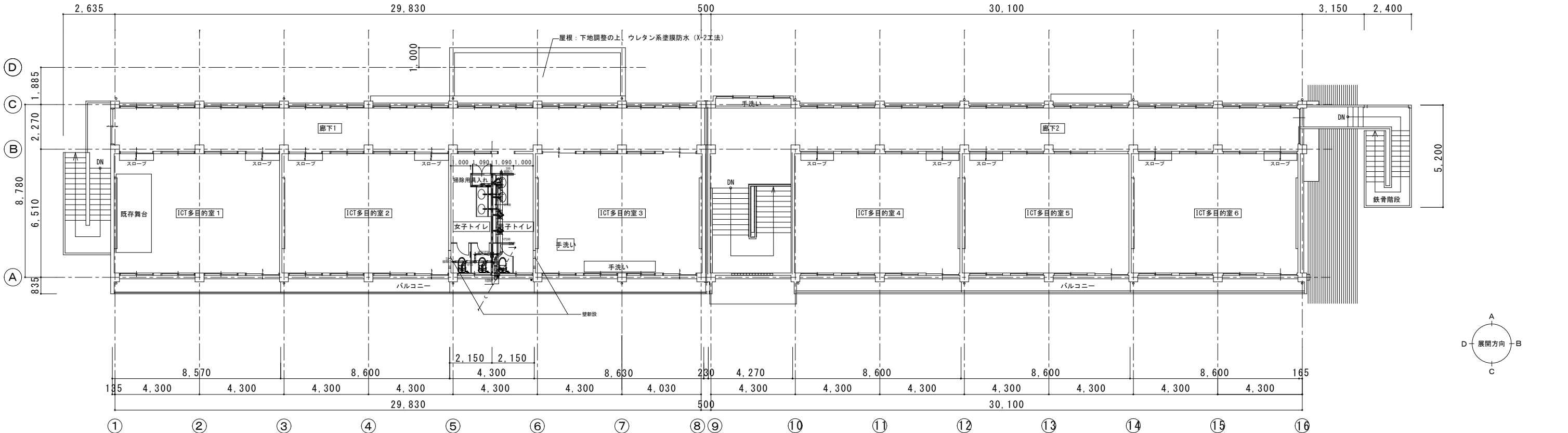
- フード・ガス・電気・衛生・設備工事別途とします。
- 給水・給湯・ガスはFL+50止メとし排水はFL+100
立ち上げ、厨房機器取り付け後、配管接続（設備工事）とします。
- 立上位置は、配管接続を考慮して逃げ寸法にて記入しています。

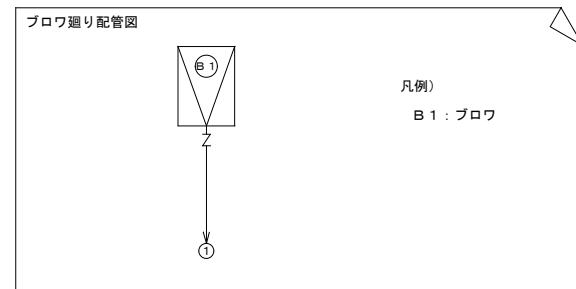
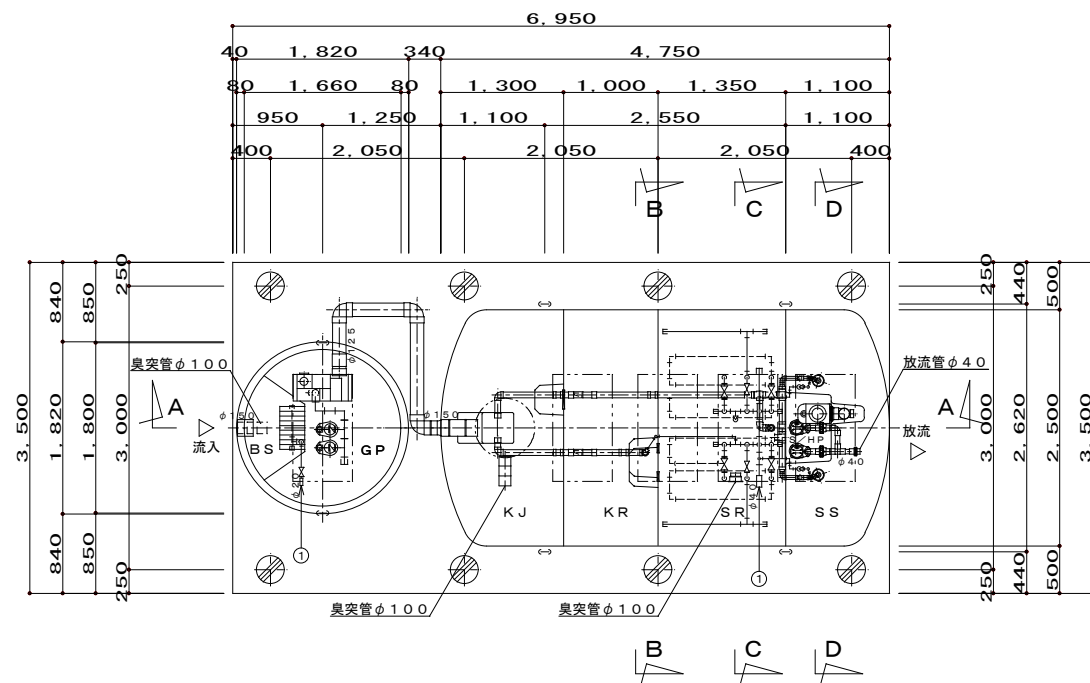
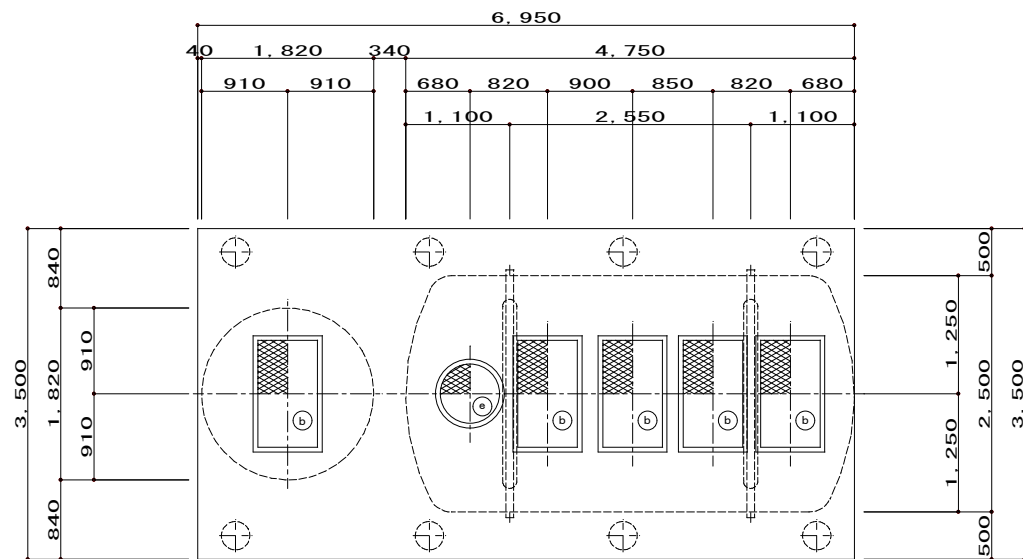
1 2 3 4 5 6 7 8 9





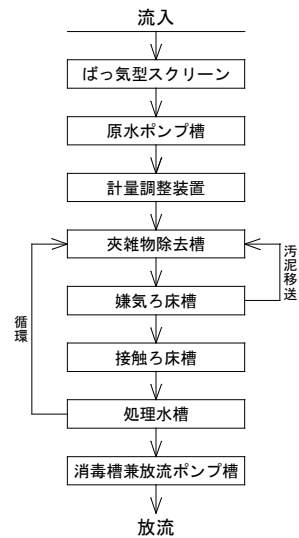
既存
改修後





槽外空気配管口径表 (土中部分の配管口径を示す)		
記号	配管名称	配管径
①	S Rばっ気・循環・汚泥移送用送気管	φ 40

原水ポンプ槽のフロート取付高さ (フロートスイッチ重り上端からケーブル固定アングルまで)				
フロート番号	1 (LWL)	2	3 (HWL)	4 (AWL)
フロート長さ (mm)	2 2 2 0	2 1 2 0	1 0 2 0	8 2 0



フローシート

流入水質		放流水質	
BOD	200 mg/L	BOD	20 mg/L

仕 様 表	
設計番号	FKB6534A
処理方式	接触ろ床方式
型式名称	フジクリーンプラント PVⅡ-80A型 (PVA203)
処理対象人員	80人
計画汚水量	16m ³ (排水時間 8時間)
機器名称	仕様
ばっ気ブロワ	32A×0.75kW×0.63m ³ /min×1台
原水ポンプ	50A×0.25kW×0.13m ³ /min×2台
放流ポンプ	40A×0.15kW×0.08m ³ /min×2台

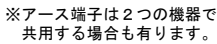
容 積 表		
記号	槽名称	実有効容量
B S	ばっ気型スクリーン	0. 5 5 m ³
G P	原水ポンプ槽	1. 8 1 m ³
K J	夾雑物除去槽	4. 6 5 m ³
K R	嫌気ろ床槽	4. 1 3 m ³
S R	接触ろ床槽	5. 5 7 m ³
S S	処理水槽	2. 9 5 m ³
S／H P	消毒槽兼放流ポンプ槽	0. 2 4 m ³ ／0. 1 7 m ³

開 口 蓋 一 覧 表				
記号	呼称寸法	数量	仕様	材質
b	700×1200	5	1500K	蓋：FRP、枠：SS（亜鉛メッキ）
e	φ600	1	1500K	蓋：FRP、枠：FRP

配管仕様表	
露出配管（ブロウ通り）	SGP
土中配管	φ 65 以下 ~ VP ・ φ 75 以上 ~ VU
槽内配管	メーカー仕様

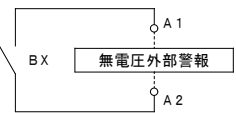
- 注 1) 上部は乗用車荷重とする。
- 注 2) 機器電源は三相 200V、総電力は 1.8kW とする。
- 注 3) 図中の「G. L.」は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
- 注 4) 浄化槽からブロフまでの距離は 20m 以内とする。
- 注 5) 流入管・放流管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注 6) 臭気管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 臭気管は浄化槽に向かって下り勾配とし、管内部に水がたまらないよう施工すること。
- 排出口は、近隣に影響を与えないよう、屋上など風通しの良い場所に設けること。
- 注 7) 電気工事は二次側（浄化槽制御盤以降）を浄化槽工事とする。
- 一次側（電源引き込み、アース引き込み）は浄化槽工事範囲外とする。
- 注 8) 外部警報接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注 9) 本設計条件における必要耐力は 60 KN/m^2 以上必要とする。
- （実際の工事業者が確認後施工の事）
- 注 10) 岩掘削工事、杭工事、地盤改良工事、ウエルポイント工事、地盤調査は別途とする。
- 注 11) 工事で水道使用料金（水張用水費）、工事用仮設電源は別途とする。
- 注 12) 埴め戻しは良土にて行うこと。
- 注 13) 散水栓 13mm 以上を 5m 以内に設置のこと。設置工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注 14) 外構工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注 15) 現状高上げ必要：200mm、最高高上げ高さ：300mm まで
- 注 16) 浮上防止金具は US 製とする。
- 注 17) 荷重影響線内に注 1) を超える荷重がある場合、擁壁の設置等が必要になります。
- 注 18) 地下水位が高いため、本体は構造仕様とする。

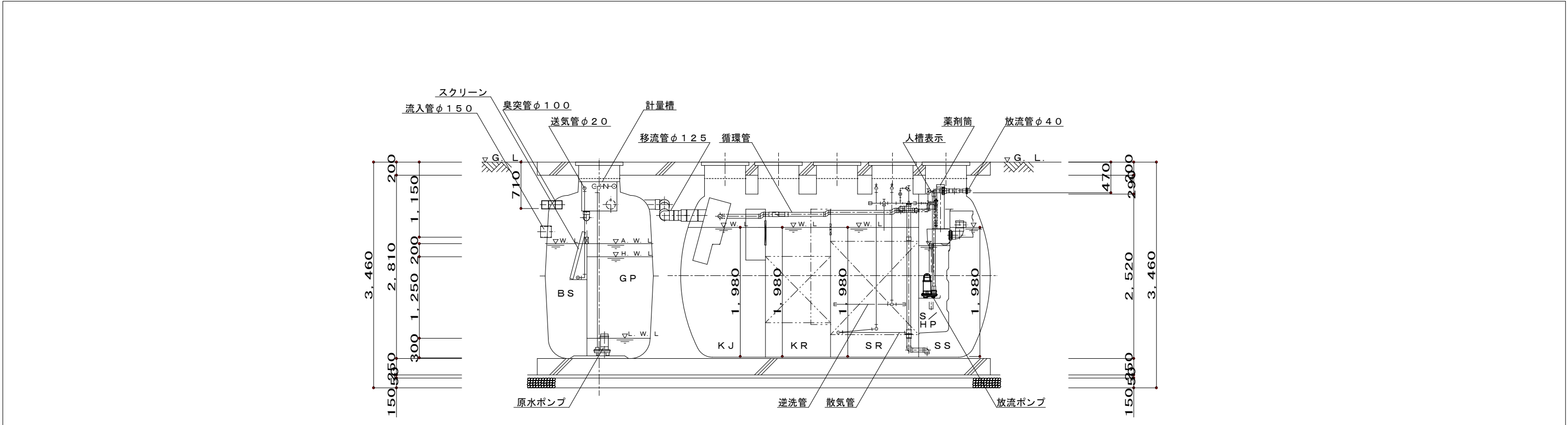
槽本体寸法・吊上目安重量			
模型槽1	φ2500×4750L	(補強仕様)	目安重量: 2000kg
原水槽	φ1500×2760H	(補強仕様)	目安重量: 480kg



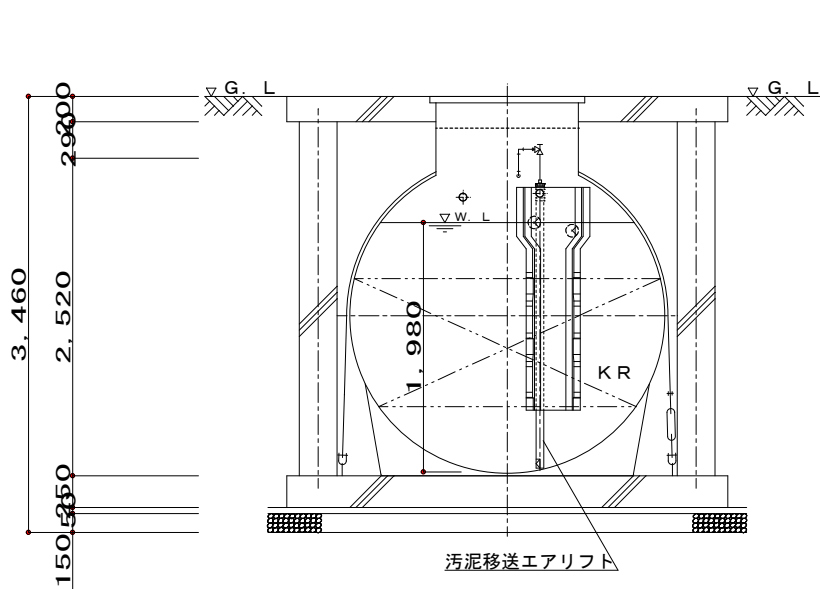
設計番号	F K B 6 5 3 4 A
型 式	P V R 2 0 5 (G H P) - E S
構 造	水切、防水・防塵構造
板 厚	本体 1.5 t
(SUS製)	扉 1.5 t
塗 装	外面 マンセル5 Y 7 / 1 内面 マンセル5 Y 7 / 1
注) ランプは白熱球とする。	

記 号	名 称
NP 0 1	浄化槽制御盤
NP 0 2	フジクリーン工業株式会社
NP 0 3	ブザー停止
NP 1	ばっ気ブロー
NP 2	原水ポンプ
NP 3	放流ポンプ

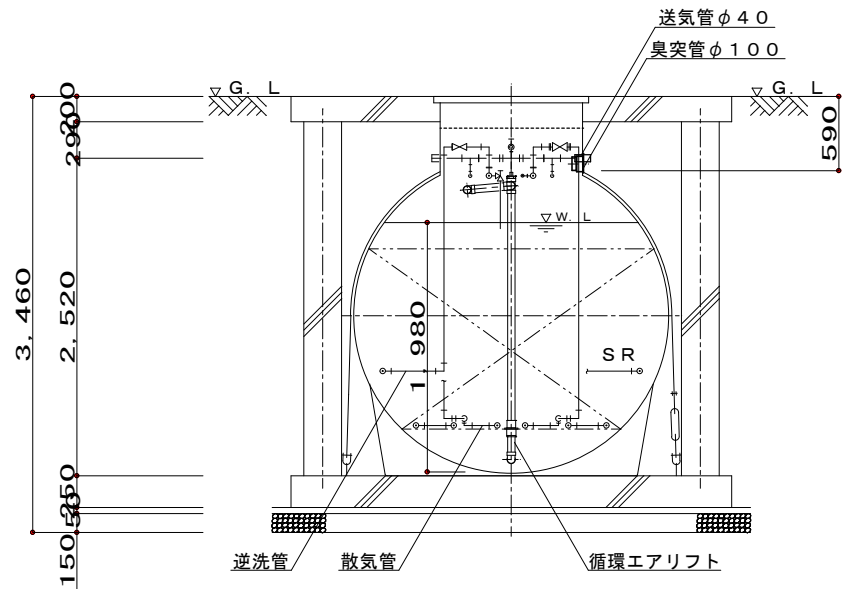
[illegible]



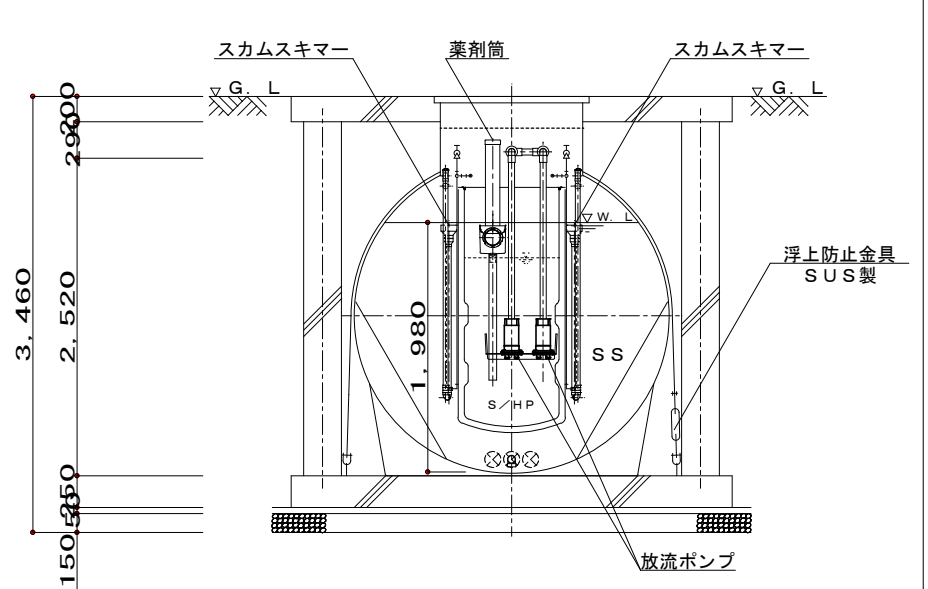
A-A断面図 1 / 30



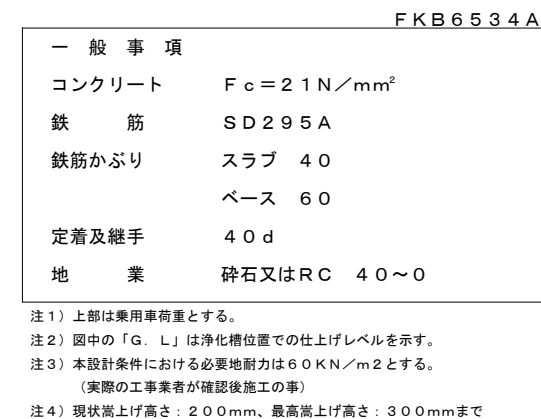
B-B断面図 1 / 30



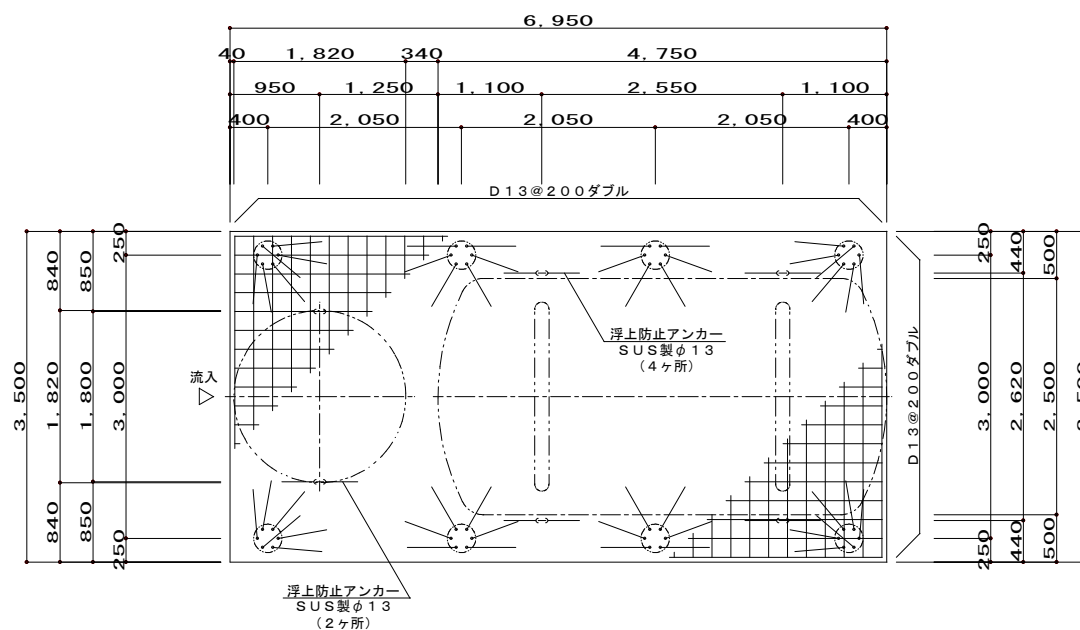
C-C断面図 1 / 30



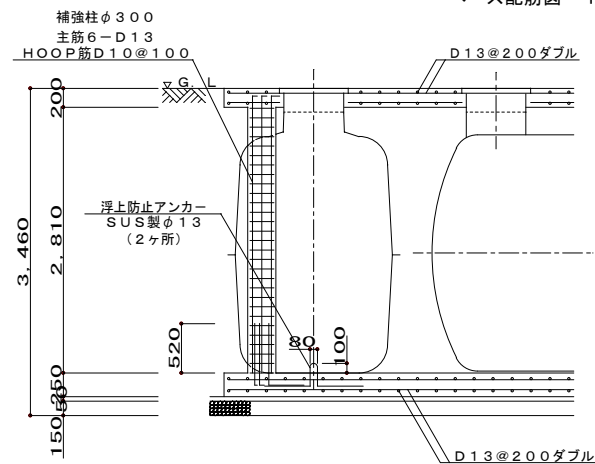
D-D断面図 1 / 30



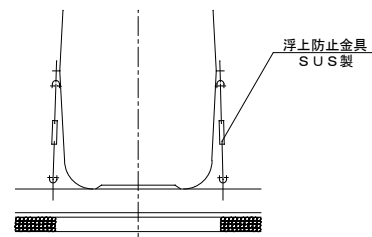
スラブ配筋図 1 / 40



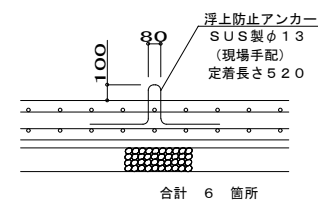
ベース配筋図 1 / 40



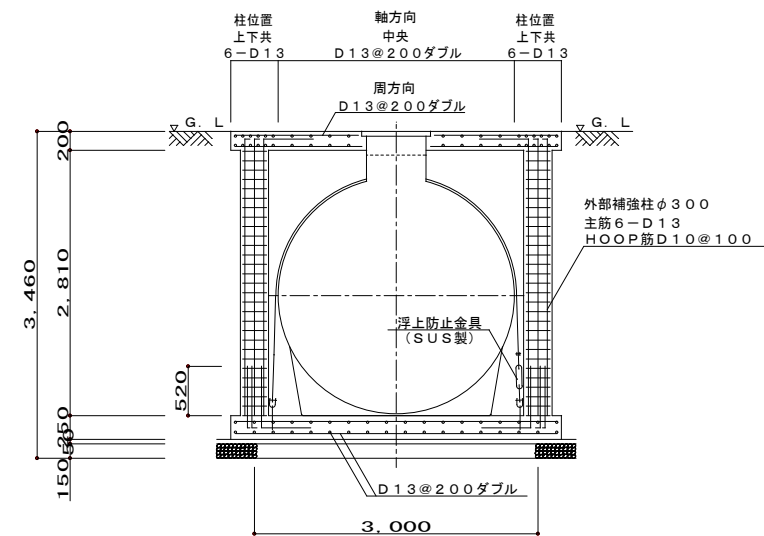
原水ポンプ槽断面配筋図 1 / 40



1500φ原水ポンプ槽
浮上防止アンカー図 1/40



浮上防止アンカー詳細図 1 / 40



横型槽断面配筋图 1 / 40

空調機器仕様一覧表

記 号	機 器 名 称	機器仕様	APF (APF2015)	定格消費電力(kw)		電 源	台 数	設置場所	備 考
			冷房時	冷房時	冷房時				
ACP1	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン 4way同時運転タイプ 室内機 天井埋込箱形(S-ラウンドフロ-)	冷房能力 14.0 kw (6.3～16.0) 暖房能力 16.0 kw (7.3～20.0) 圧縮機 2.83 kW 冷媒 R32	6.1	3.50	3.80	三相200V	1	1階 飲食スペース	室外機：耐塩害仕様 室内機：ドレンホース付属 ワイヤードレン 参考型式：SSRC160CDE
ACP2	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン 4way同時運転タイプ 室内機 天井埋込箱形(S-ラウンドフロ-)	冷房能力 12.5 kw (5.7～14.0) 暖房能力 14.0 kw (6.3～18.0) 圧縮機 2.36 kW 冷媒 R32	6.1	2.95	3.20	三相200V	1	2階 ICT多目的室1	室外機：耐塩害仕様 室内機：ドレンホース付属 ワイヤードレン 参考型式：SSRC140CDE
ACP3	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン シングルタイプ 室内機 天井埋込箱形(S-ラウンドフロ-)	冷房能力 5.6 kw (1.4～6.3) 暖房能力 6.3 kw (1.6～8.0) 圧縮機 1.10 kW 冷媒 R32	7.4	3.90	4.10	三相200V	1	1階 飲食スペース	室外機：耐塩害仕様 室内機：ドレンホース付属 ワイヤードレン 参考型式：SSRC63CTE
ACP4	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン シングルタイプ 室内機 天井埋込箱形(S-ラウンドフロ-)	冷房能力 12.5 kw (3.2～14.0) 暖房能力 14.0 kw (3.5～18.0) 圧縮機 2.36 kW 冷媒 R32	6.7	3.19	3.19	三相200V	5	2階 ICT多目的室2、3、4、5、6	室外機：耐塩害仕様 室内機：ドレンホース付属 ワイヤードレン 参考型式：SSRC140CE
ACP5	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン シングルタイプ 室内機 天井吊形(厨房用)	冷房能力 12.5 kw (5.7～14.0) 暖房能力 14.0 kw (6.3～18.0) 圧縮機 2.36 kW 冷媒 R32	4.8	4.05	4.40	三相200V	1	1階 調理室	室外機：耐塩害仕様 室内機：ドレンアップキット及び付属品 ワイヤードレン 参考型式：SSRT140CE
RAC1	空冷ヒートポンプ式ルームエアコン シングルタイプ 室内機 壁掛形	冷房能力 2.2 kw (0.7～3.3) 暖房能力 2.5 kw (0.6～6.2) 圧縮機 0.60 kW 冷媒 R32	6.9	0.39	0.44	単相100V (室内機)	1	1階 休憩室	室外機：耐塩害仕様 室内機：ドレンアップキット及び付属品 ワイヤードレン 参考型式：S225ATAS-W(E)

- 注記 1. 空調機能力はJIS条件による。
2. 空調機器はご購入方法及び省エネ法（トップランナー基準）に適合した機器を選定すること。（ACP-5は除く）
3. 空調機器の冷暖房能力はインバーターの最高値で記載値を満足する機種を選定すること。
4. 機器の電気容量・消費電力は記載値以下の機種を選定すること。
5. 室外機には転倒防止金物を取り付けること。
6. 室外機用基礎はコンクリート製緑石（L=600×100H）とする。

換気機器仕様一覧表

記 号	機 器 名 称	機器仕様	風 量 (m3/h)	機外静圧 (Pa)	消費電力 (W)	電 源	台 数	設置場所	備 考
FE1	壁換気扇	20cm 窓枠据付格子タイプ 電気シャッター、連調付 ウェザーカバー（SUS製）	300	—	18.0	単相100V	3	1階 飲食スペース	コントロールスイッチ（強弱有） 参考型式：EX-20SC4
FE2	壁換気扇	20cm 窓枠据付格子タイプ 電気シャッター、連調付 ウェザーカバー（SUS製）	400	—	18.0	単相100V	6	2階 ICT多目的スペース 1、2、3、4、5、6	コントロールスイッチ（強弱有） 参考型式：EX-20SC4
FE3	壁換気扇	20cm 窓枠据付格子タイプ 電気シャッター、連調無し ウェザーカバー（SUS製）	400	—	18.0	単相100V	2	2階 男子トイレ、女子トイレ	コントロールスイッチ（強弱無） 電源コードブラグ付 参考型式：EX-20SC4-S
FE4	天井換気扇	DCモーター／定風量タイプ SUS製深形フード（φ100、ギャラリ付）	160	100	19.5	単相100V	1	1階 調理室	コントロールスイッチ（強弱有） 参考型式：VD-15ZVC7
FE5	天井換気扇	DCモーター／定風量タイプ SUS製深形フード（φ100、ギャラリ付）	70	20	3.3	単相100V	1	1階 休憩室	コントロールスイッチ（強弱有） 参考型式：VD-13ZVC7
FE6	天井換気扇	DCモーター／定風量タイプ SUS製深形フード（φ100、ギャラリ付）	70	20	3.3	単相100V	1	1階 倉庫	コントロールスイッチ（強弱有） 参考型式：VD-13ZVC7
OA1	給気グリル	ネットフィルター付／風量調整機構付 SUS製深形フード（φ100、ギャラリ付）	—	—	—	—	1	1階休憩室	 参考型式：P-13GLF5

配管防露・塗装・防蝕仕様一覧表

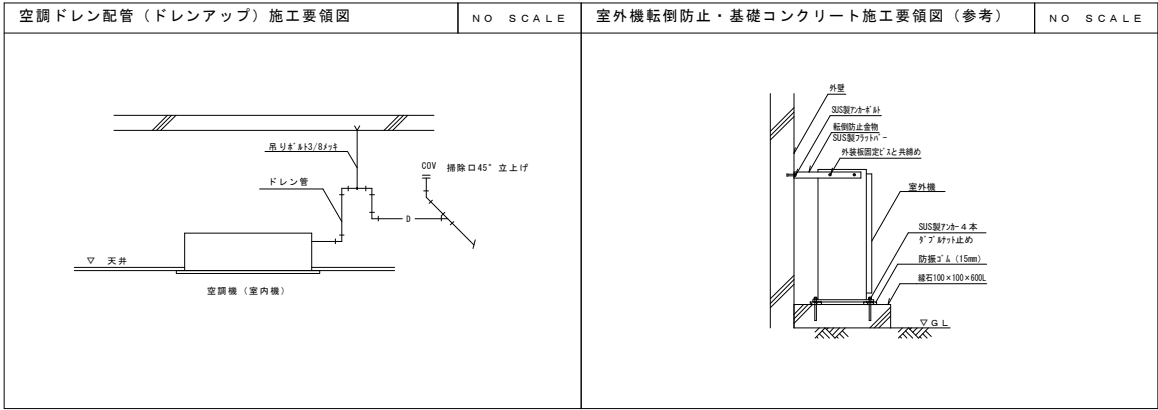
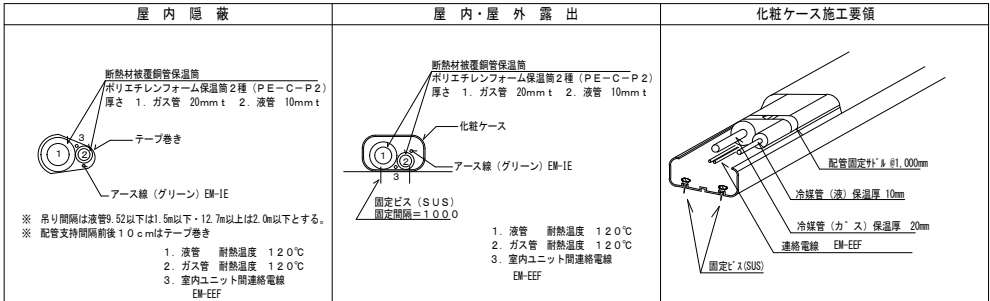
施工場所	冷媒管	空調 ドレン管	空調換気 給気側 排気側	普通換気	給水管	排水・ 通気管	温水管	油管	煙道	防露・防食・塗装仕様
屋外土間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A・・・裸管のまま B・・・保温チューブ巻（保温厚10mm） C・・・調合ペイント2回塗り D・・・保温化粧タテ E・・・合成樹脂製カバー（2） F・・・樹脂製カバー巻 G・・・錆止め＋調合ペイント2回塗り H・・・ケラカル化粧保温帯 I・・・ケラカル化粧保温帯＋合成樹脂カバー（2） J・・・ケラカルカバー＋亜鉛鍍板 K・・・錆止め＋ラッカー塗装
天井内・PS内	A	B	—	—	—	—	—	—	—	
屋外露出	D	C	—	—	—	—	—	—	—	
屋内露出	E	E	—	—	—	—	—	—	—	

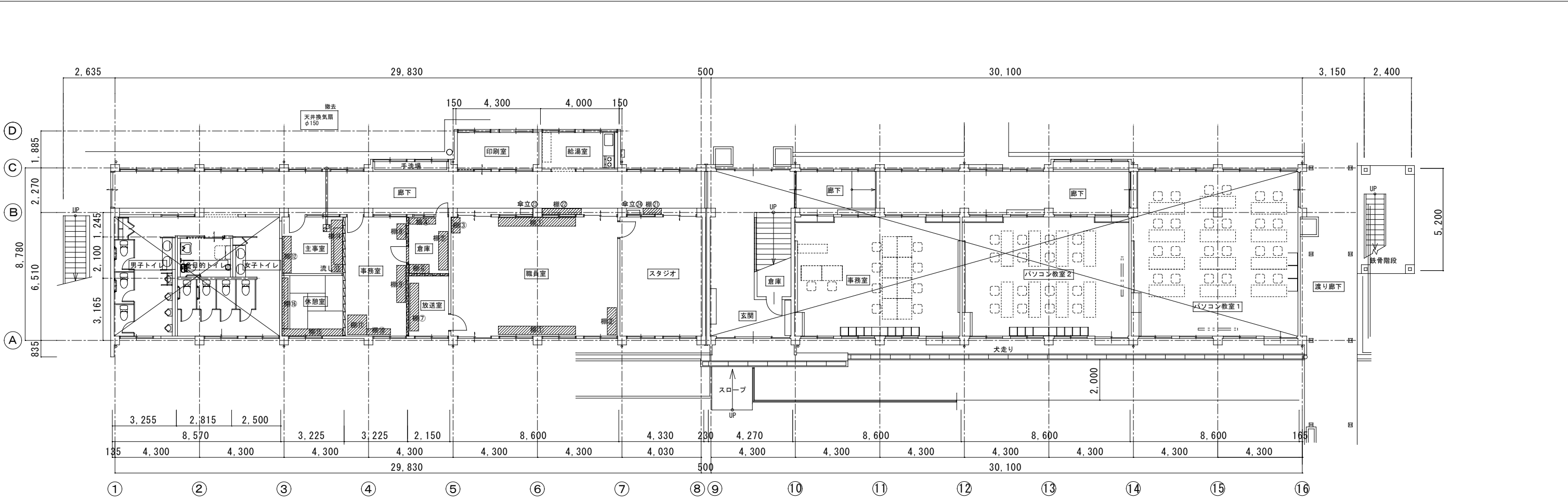
※特記ある部分は特記を優先する。

凡 例 表

記 号	名 称	使 用 管 材
— R —	冷 媒 管	断熱材被覆銅管
— D —	ド レ ン 管	硬質ポリ塩化ビニル管（V P）
[K]	空調機用リモコンスイッチ	
— 〃 —	リモコン配線（空調）	EM-C E E 1. 2 5 ロ-2 C
— 〃 —	渡り配線（空調）	EM-E E F 2. 0 0 -3 C+E

冷媒配管施工要領図

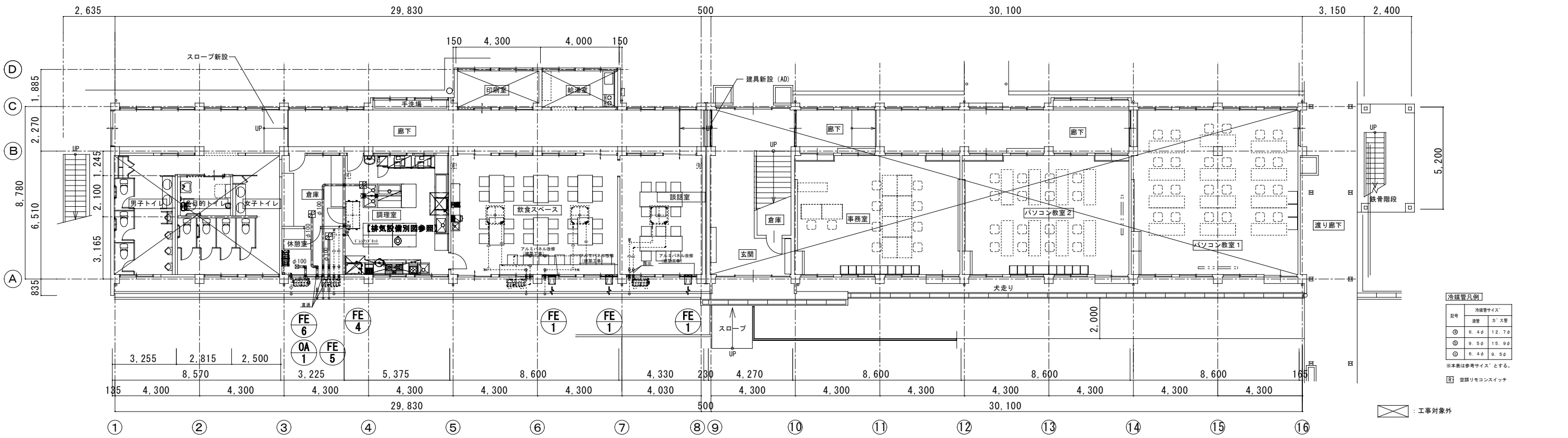




既存 1 階平面図 1 : 100

既存
改修後

凡例
撤去処分

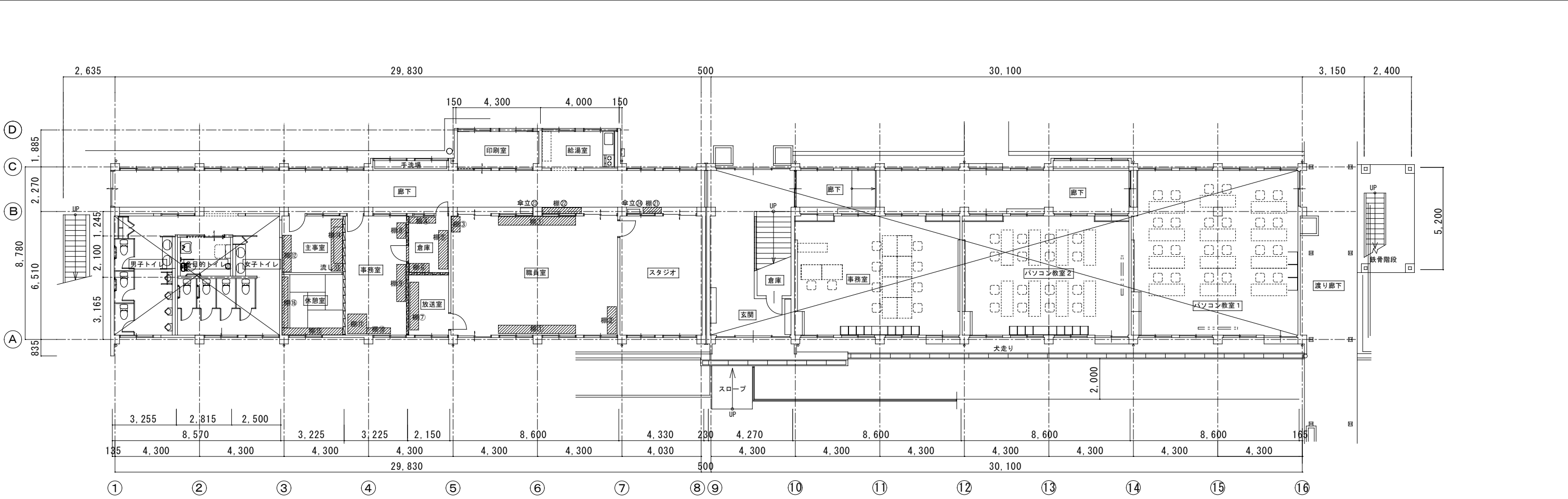


改修 1 階平面図 1 : 100

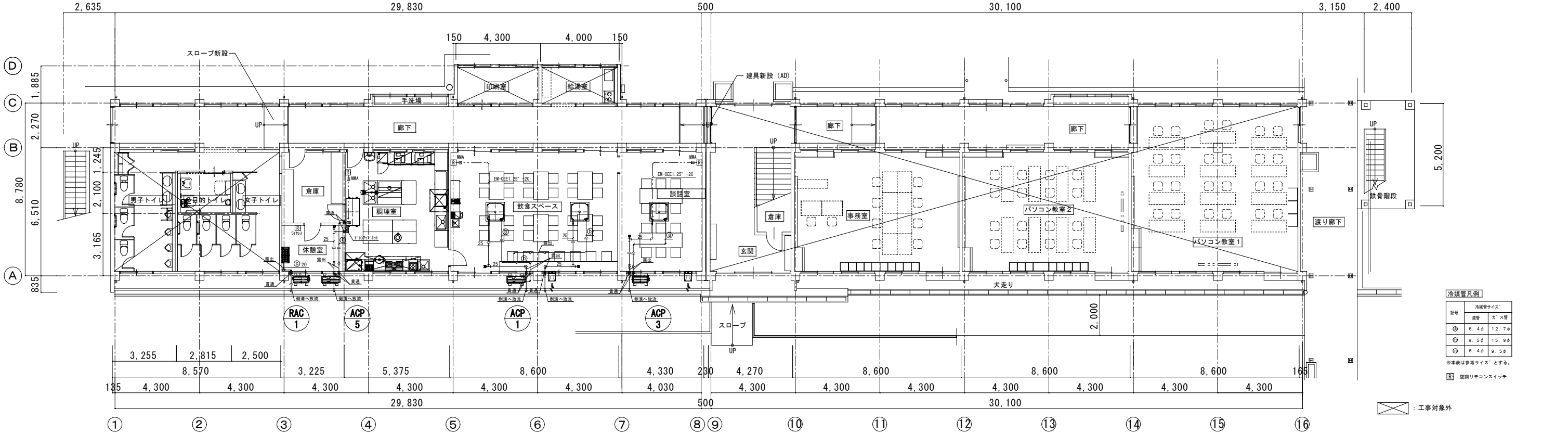
冷媒管凡例		
記号	冷媒管サイズ	
	管径	ガス管
①	6.4φ	12.7φ
②	9.5φ	15.9φ
③	6.4φ	9.5φ

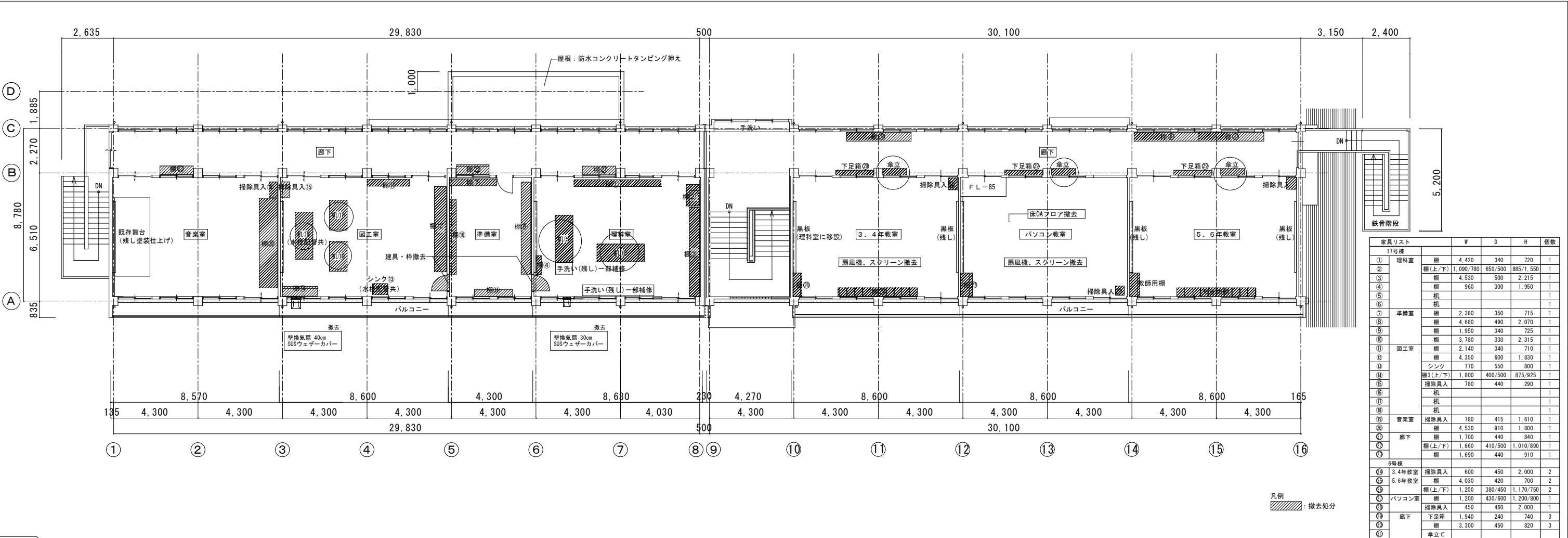
※本表は参考サイズとする。
④ 空調リモコンスイッチ

工事対象外



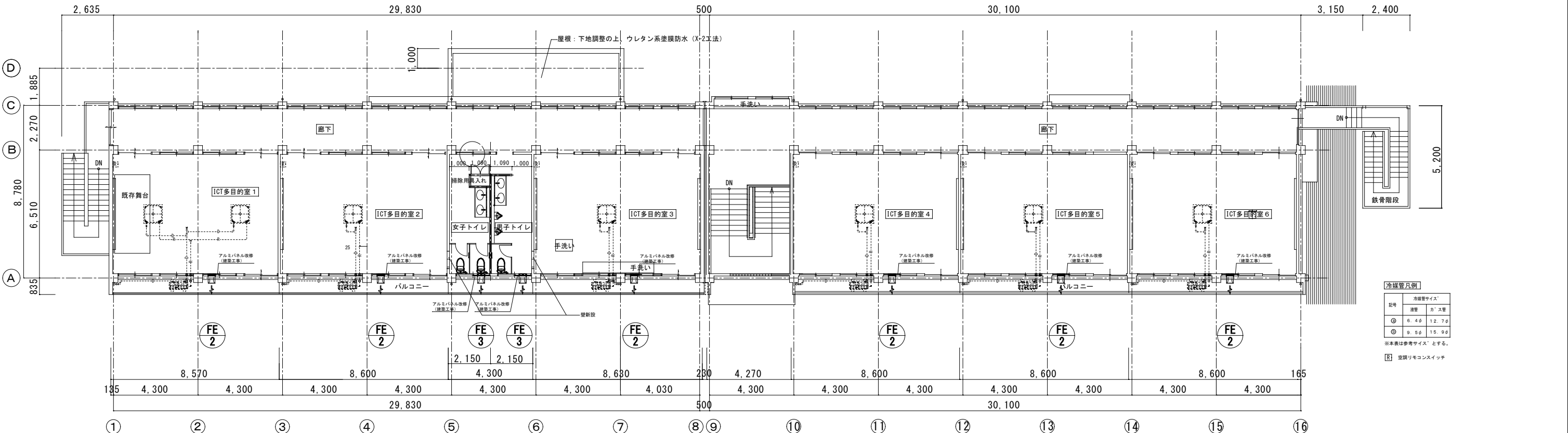
既存
改修後



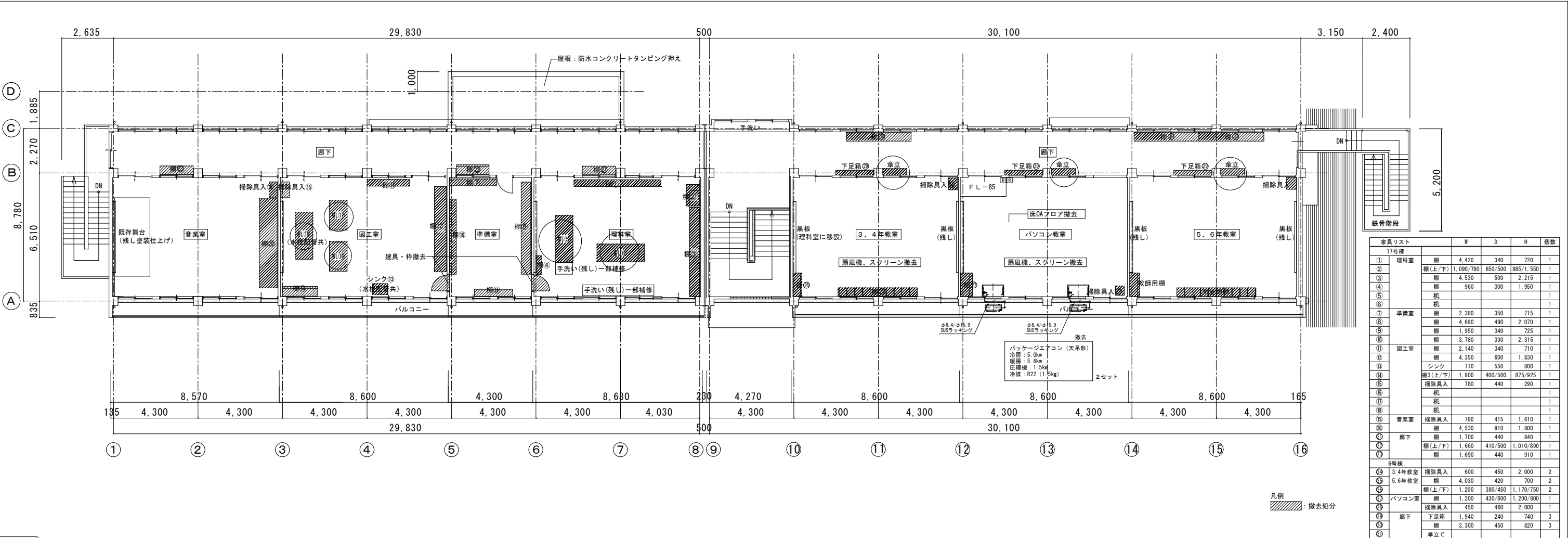


家具リスト					W	D	H	個数
17号棟								
①	理科室	棚	4,420	340	720	1		
②		棚(上/下)	1,090/780	650/500	885/1,550	1		
③		棚	4,530	500	2,215	1		
④		棚	960	300	1,950	1		
⑤	準備室	机				1		
⑥		机				1		
⑦		棚	2,380	350	715	1		
⑧		棚	4,680	490	2,070	1		
⑨	図工室	棚	1,950	340	725	1		
⑩		棚	3,780	330	2,315	1		
⑪		棚	2,140	340	710	1		
⑫		棚	4,350	600	1,830	1		
⑬	音楽室	シンク	770	550	800	1		
⑭		棚3(上/下)	1,800	400/500	875/925	1		
⑮		掃除員入	780	440	290	1		
⑯		机				1		
⑰	廊下	机				1		
⑱		机				1		
⑲		掃除員入	780	415	1,610	1		
⑳		棚	4,530	910	1,800	1		
㉑	6号棟	廊下	1,700	440	840	1		
㉒		棚(上/下)	1,660	410/500	1,010/890	1		
㉓		棚	1,690	440	910	1		
㉔		掃除員入	600	450	2,000	2		
㉕	3,4年教室	棚	4,030	420	700	2		
㉖		棚(上/下)	1,200	380/450	1,170/750	2		
㉗		棚	1,200	430/600	1,200/800	1		
㉘		掃除員入	450	460	2,000	1		
㉙	廊下	下足箱	1,940	240	740	3		
㉚		棚	3,300	450	820	3		
㉛		傘立て						
㉜								

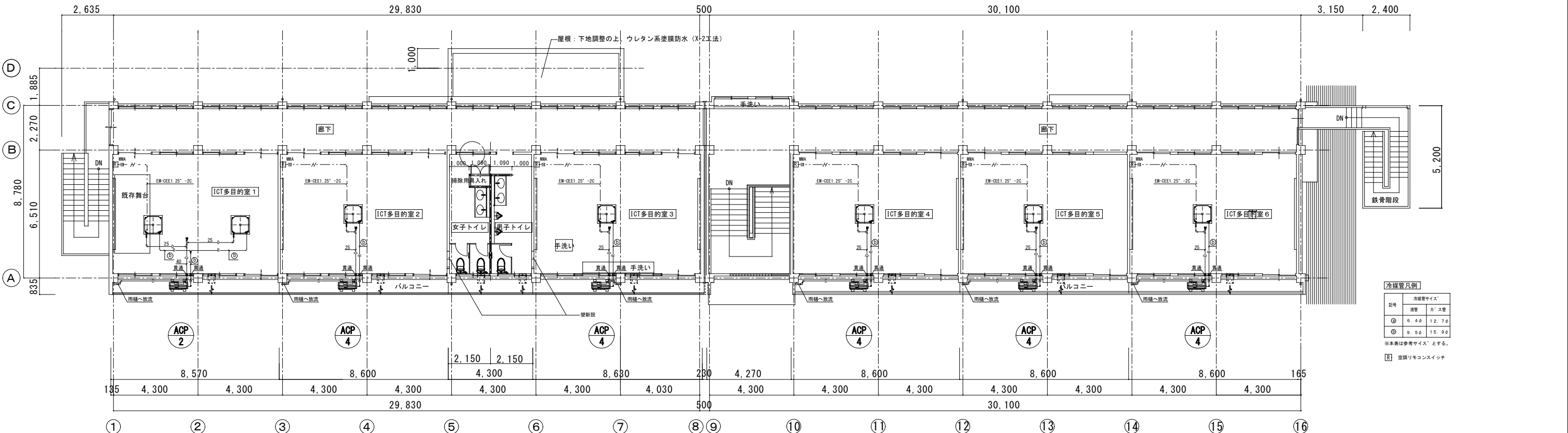
既存
改修後



冷媒管凡例		
記号	冷媒管サイズ	
◎	冷管	冷管
①	8.4φ	12.7φ
②	9.5φ	15.9φ
※本表は参考サイズとする。		
[R] 空調リモコンスイッチ		



既存
改修後



厨房平面图

廚房展開圖

厨房SUS製排気フード

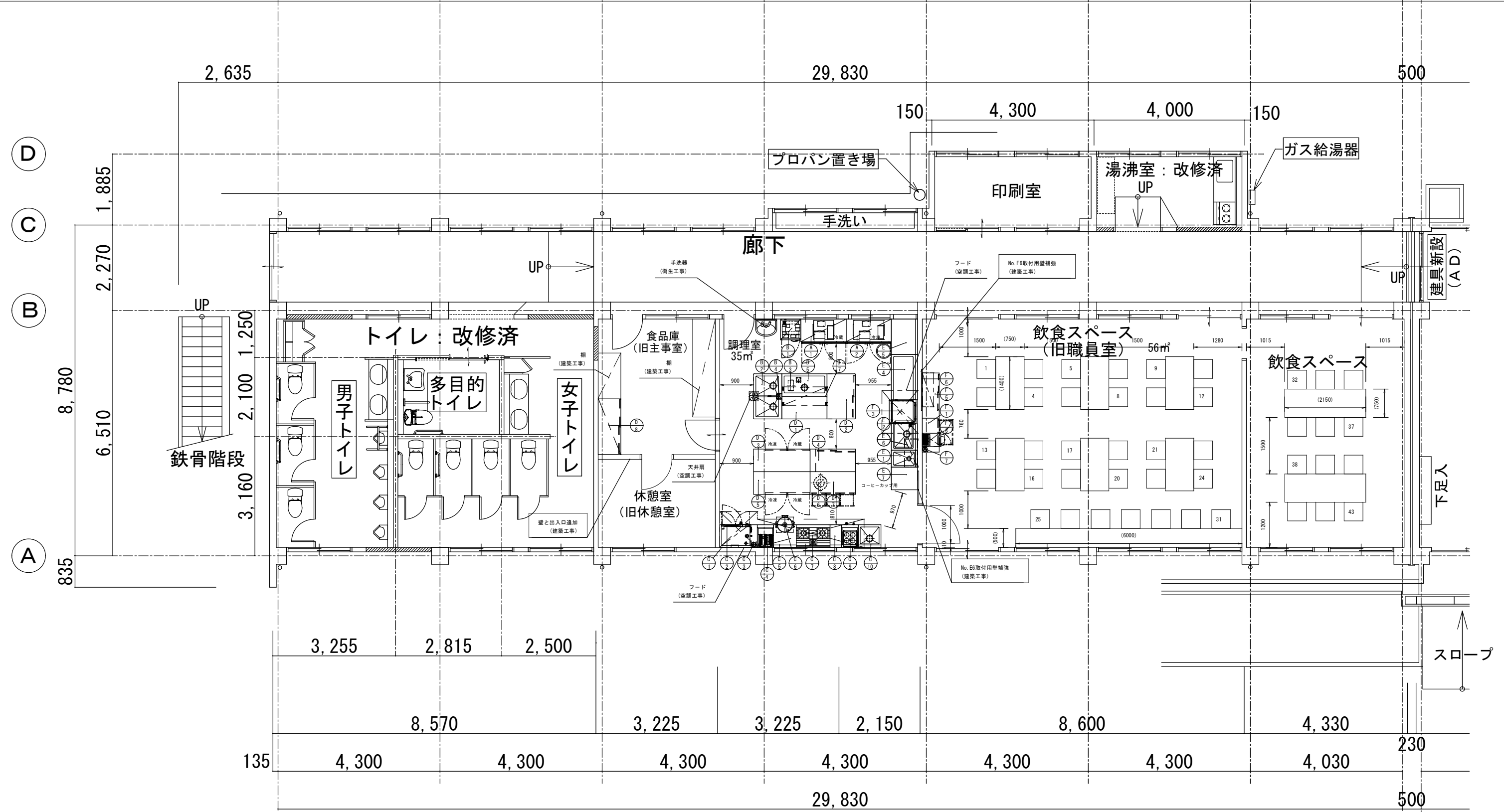
	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯				⑰						
SUS 排気 フード					③×④			30×⑤×⑥ V=30K・Q		③×⑧		⑨×⑩ V・K・Q	⑦+⑪	①×②		⑬×⑭×3600						⑱<⑲					
記号	間口	奥行	高さ	ガス器具	台数	1台当りの ガス 発熱量	発生量 理論値	ガス発熱量 による	1台当りの 厨房機器	電容量	電気容量	電容量 による	ガス+電気 必要換気量	合計	F+D 平面積	F+D 面速	必要換気量	採用風量	記号	名称	型式	風量	静圧	台数	合計	判定	備考
	mm	mm	mm			Q kw	K m3/kwh	m3/h		kw	K m3/kw・h	m3/h	m3/h	m2	m/sec	m3/h	m3/h					m3/h	Pa	m3/h			
A	1140	950	800	食器洗浄機	1	0	0	0	5.40	5.40				1.083	0.25 0.4 0.5	975 1,560 1,949										GF FSVL1-550S FVD FGS-3020S	
						ガス合計	0	0.93	0	電気合計	5.40	30	162	162				面速0.25m/s 975		ストリート ショックアン	BFS-100SA2	980	250	1	980	OK	GF FSVL1-550G
B	1000	950	800	ｽﾎｰﾙﾊﾞﾝﾄﾞｼｵﾝ	1	0	0	0.93	0	5.90	5.90	30	162	162	0.95	0.25 0.4 0.5	855 1,368 1,710		FE-7							GF FSVL1-550G	
						ガス合計	0	0.93	0	電気合計	5.90	30	177	177				面速0.25m/s 855		有圧換気扇	EWF-30BSA2	860	70	1	860	OK	
C	2830	750	800	ｶﾞｽ炊飯器	1	5.54	5.54							2.1225	0.25	1,910										GF FSVL3-550G	
				ｶﾞｽﾃｰﾌﾞﾙ	1	28.5	28.5								0.4	3,056											
				流厨角型油種器	1	9.3	9.3								0.5	3,821											
				ｶﾞｽｽﾀｲﾌﾟ	1	10	10											面速0.25m/s 1,910		FE-9	有圧換気扇	EWF-35CSA2	2,000	60	1	2,000	OK
						ガス合計	53.34	0.93	1.488	電気合計	0.00	30	0	1.488													

※厨房排気フード 材質 : SUS304 ×1.0t (研磨仕上)
排気フード高さ : FL+1900 下バ

※厨房排気フードダクト保温仕様 (RW50t) 屋内隠蔽部

換気機器仕様一覧表

[illegible]



業種 レストラン
客席数 (43席)

機器No. 凡例

- 既存品
- 見積除外品
- 現場寸法合せ品

※寸法解除後約7日間の納期を要します

図示記号凡例

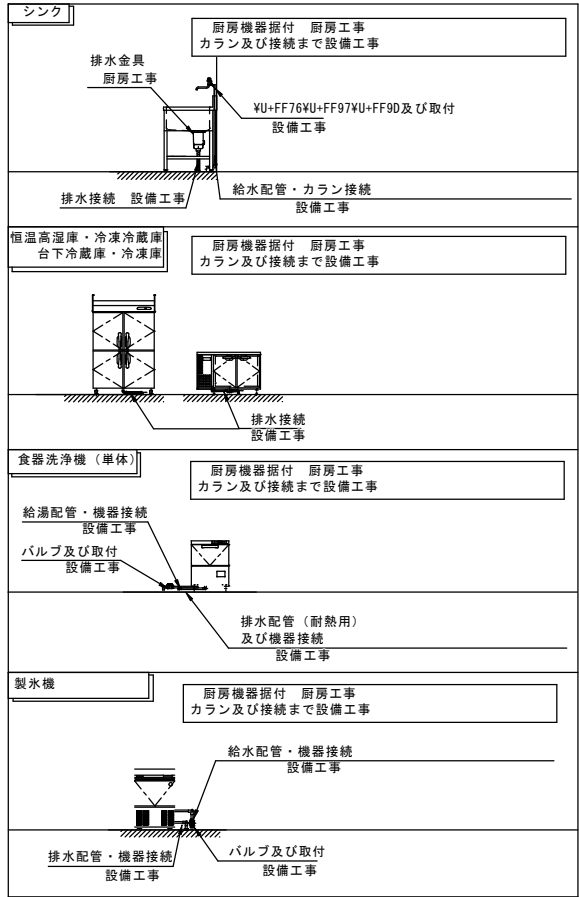
- フード【空調工事】
- 手洗器【設備工事】
- 壁下地補強【建築工事】
※吊戸棚用吊ボルト工事要打合せ
- 天井扇【空調工事】

特記事項

- ◇ 厨房区画内は、床・壁・天井とも下地及び仕上材を不燃材料とみなす
- ◇ 厨房工事は機器の搬入・据付までとし設備等接続工事は別途工事【設備工事】・【電気工事】とする
- ◇ 壁取付棚・吊戸棚裏下地補強・吊ボルト・壁面ステンレス貼りは別途工事【建築工事】とする
- ◇ フード・ダクト・グリスフィルターの製作および設置は別途工事【設備工事】とする
- ◇ グレーチング・グリストラップの支給および設置工事別途工事【設備工事】とする
- ◇ 給湯器・シンク水栓（カラン）の支給および設置工事は別途工事【設備工事】とする
（カランヶ所に付給湯器4号以上・給湯接続仕様の洗浄機は専用給湯器【75℃程度】が必要）
- ◇ 建築仕上り寸法により通路幅の変動が生じることを想定した図面である

No.	品名	形式	台数	寸法 (mm)			配管口径 (A)				L P G		電 気 (60Hz, kW)			フイード	備 考
				W	D	H	給水	給湯	排 水		口径 A	kW	単相100V	単相200V	三相200V		
									機器側	設備側							
A-	< 保存 >																
1	冷蔵庫		1	1200	650	1910			φ 30	50			0. 28			定格内容積:819L コネクトWi-Fi対応可	
2	冷凍庫		1	1200	650	1910			φ 26	50					0. 65	定格内容積:812L コネクトWi-Fi対応可	
B-	< 下処理 >																
1	包丁マナ板殺菌庫		1	540	550	1600			25	50			1. 3			コネクトWi-Fi対応可	
2	SUS304製二槽シンク		1	1200	750	800	15×2	15×2	40×2	50×2					天井吊	天板1. 2mm, 清掃用スノコ取外し式	
3	電解水生成装置		1	285	145	335	15GV		φ 6×2	No. B2 シンクへ			0. 17			食品添加物の成分規格を満たした強酸性水を生成	
4	リモートコントローラー用架台		1	150	141	98											
5	SUS304製水切調理台		1	1200	600	800			40	50						天板1. 2mm, 清掃用スノコ取外し式, 大型ゴミ収納器付	
6	欠番																
7	オーバーシェルフ		1	1200	500	800										棚段数:2段	
C-	< 主調理 >																
1	スチームコンベクションオープン専用架台		1	1000	600	800											
2	スチームコンベクションオープン		1	750	560	685	No. C3 へ接続		φ 38	耐熱・耐薬 50					5. 9	GF	コネクトWi-Fi対応可
3	浄軟水器		1	104	104	415	15GV										
4	ガスフライヤー		1	430	600	800					15	10. 0			GF		
5	炊飯台車付作業台		1	600	600	800											
6	ガス炊飯器		1	492	423	426					φ 9. 5	5. 54					
7	ガステーブル		1	900	600	800					20	28. 5			GF		
8	ワークテーブル		1	300	600	800											
9	涼厨角型ゆで麺器		1	450	600	800	15GV		32	耐熱 50	15	9. 3			要		
10	一槽シンク		1	600	600	800	15	15	40	50						天板1. 2mm, 清掃用スノコ取外し式, B6厚D=70mm	
D-	< 盛付・配膳 >																
1	SUS304製ワークテーブル		1	1200	600	800										天板1. 2mm, 清掃用スノコ取外し式, コンセント取付用ステン板有	
2	キャビネットテーブル		1	1200	750	800										天板1. 2mm, 清掃用扉下部レールなし	
3	テーブル形冷凍冷蔵庫		1	1500	600	800			φ 30	50			0. 337			定格内容積:310L (冷蔵室:151L, 冷凍室:159L) コネクトWi-Fi対応可	
4	キャビネットテーブル		1	1200	600	800										天板1. 2mm, 清掃用扉下部レールなし, 本体W=1050mm, 天板のみ150mm伸ばす	
5	テーブル形冷凍冷蔵庫		1	1500	600	800			φ 30	50			0. 337			定格内容積:310L (冷蔵室:151L, 冷凍室:159L) コネクトWi-Fi対応可	
6	保温ジャー		1	435	358	315							0. 078			3升用 外装ステンレス仕様	
7	引出付キャビネットテーブル		1	1200	600	800										天板1. 2mm, 清掃用扉下部レールなし	
8	食器戸棚		1	1500	600	1800										天板1. 2mm, 清掃用扉下部レールなし	
E-	< 下膳・洗浄 >																
1	一槽シンク		1	450	700	850	15	15	40	50						天板1. 2mm, 清掃用スノコ取外し式, 天板右前面カット有	
2	ソイルドテーブル		1	1000	700	850	15×2	15×2	40×2	50×2						天板1. 5mm, 清掃用スノコ取外し式	
3	食器洗浄機		1	640	655	1432		15GV	φ 38. 5×2	耐熱・耐薬 50×2					5. 4	要	コネクトWi-Fi対応可
4	クリーンテーブル		1	900	700	850										天板1. 2mm, 清掃用スノコ取外し式	
5	ワークテーブル		1	(940)	700	850										天板1. 2mm, 清掃用スノコ取外し式, 前面ビン角仕様	
6	バックシェルフ		2	750	350	300											
7	ワークテーブル		1	600	700	850										天板1. 2mm, 清掃用スノコ取外し式	
F-	< サービス・パントリー >																
1	引出付キャビネットテーブル		1	900	450	800							1. 5			天板1. 2mm, 清掃用扉下部レールなし, 本体W=750mm, 天板のみ150mm伸ばす	
2	欠番																
3	チップアイスディスペンサー		1	350	585	815	No. F / へ接続		φ 30	50			0. 35				
4	欠番																
5	テーブル形冷蔵ショーケース		1	1200	450	800							0. 139			冷却内容積:219L	
6	バックシェルフ		1	900	300	250											
7	浄軟水器		1	104	104	415	15GV										
	将来設置用冷凍冷蔵庫用設備								40	50					(0. 594)		
	< 給湯設備 >																
	厨房用給湯器(設備工事)																
	洗浄用給湯器(設備工事)																
	合 計											53. 34	7. 201		(12. 544)		

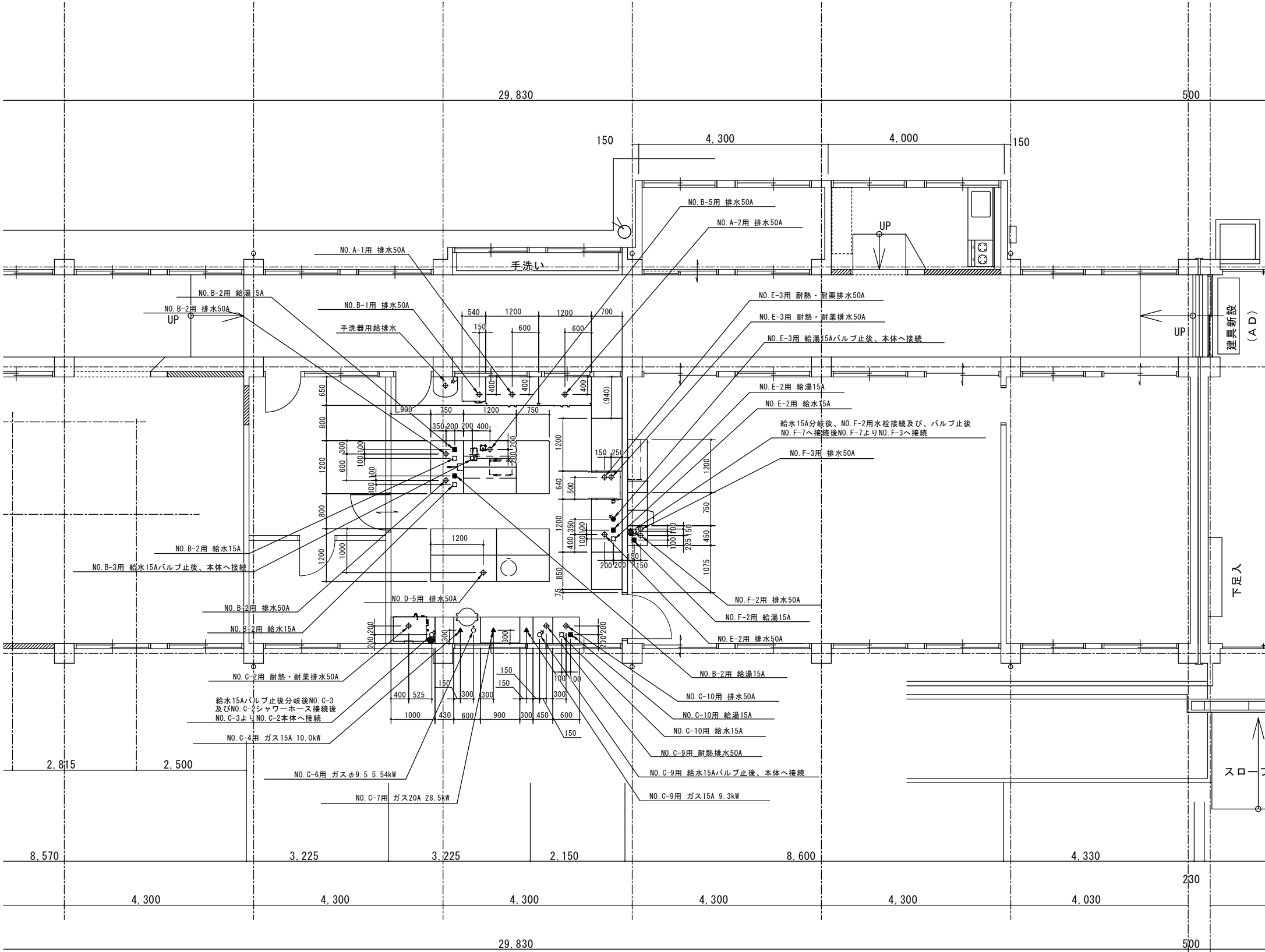
～設備工事区分参考例～



設備シンボル凡例	
	給水（カラン）
	給湯（カラン）
	給水（バルブ付）
	給湯（バルブ付）
	排水
	ガス（ホースコック付）
	ガス（鋼管/可とう管）

注 意 事 項

- フード・ガス・電気・衛生・設備工事別途とします。
- 給水・給湯・ガスはFL+50止メとし排水はFL+100
立ち上げ、厨房機器取り付け後、配管接続（設備工事）とします。
- 立上位置は、配管接続を考慮して逃げ寸法にて記入しています。



2 3 4 5 6 7 8 9

